

平成30年度山口県公立高校生  
学習状況等に関するアンケート

集計結果

平成31年3月  
高校教育課

## 目次

I	概要	1
II	学習の取組等に関する質問について	2
III	学習習慣に関する質問について	10
IV	各教科（国語・数学・英語）の学習に関する質問について	16
V	生活習慣に関する質問について	26
VI	クロス集計	31

## I 概要

### 1 目的

山口県の公立高校生の学習意欲、学習習慣及び生活習慣等を把握・分析し、その状況及び課題を各学校に提示することにより、PDCAサイクルによる教育活動の改善、教員の学習指導の充実や生徒の学習状況の改善等に資する。

### 2 対象校

公立高等学校全日制課程（本・分校別、校舎別とし、中等教育学校後期課程を含む。）

### 3 対象生徒

各学年から1クラス分の生徒（30～40人程度）を抽出

※ 少人数クラス等により1クラスの生徒が20人程度の場合は、他のクラスと合わせて30～40人程度を抽出

※ 各学年の生徒数が30人に満たない場合は、学年の全生徒を対象

### 4 実施日

平成30年10月の任意の日

### 5 アンケート項目

- 学習の取組等に関する質問（10問）
  - 学習習慣に関する質問（8問）
  - 各教科（国語・数学・英語）に関する質問（17問）
  - 生活習慣に関する質問（7問）
- 合計 42 問

### 6 集計結果

#### (1) 実施校数及び回答生徒数

- ア 実施校数 59校
- イ 回答生徒数 6,307人

#### (2) 集計

##### ア 県全体の集計について

統計的に処理するため、2,952人（1年：980人、2年：1,008人、3年：964人）を集計対象として抽出して実施

##### イ 各学校の集計について

回収した全てのアンケートを対象として実施

## Ⅱ 学習の取組等に関する質問について

### 1 集計結果の概要

#### (1) 特徴的な事柄

##### ○ 主体的な学びが実現できている生徒の割合が増加している。

- 授業で示された目標（めあて・ねらい）を理解して取り組んでいる生徒の割合は増加している。（75%→88% [H28→H30]） → 質問1
- 話し合ったり、発表し合ったりする活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思っている生徒の割合は、全ての学年で増加している。（1年：76%→85%、2年：69%→77%、3年：61%→76% [H28→H30]） → 質問3
- 授業の最後に、学習した内容を振り返ったり、まとめたりしている生徒の割合は、全ての学年で増加している。（1年：57%→61%、2年：51%→55%、3年：47%→56% [H28→H30]） → 質問5

##### ○ 自己肯定感や進路意識が高い生徒の割合が増加している。

- 自分には良いところがあると思っている生徒の割合は、全ての学年で増加している。（1年：74%→80%、2年：76%→78%、3年：81%→87% [H28→H30]） → 質問6
- 将来の夢や目標をもっている生徒の割合は、学年別にみると3年が高い。（1年：76%、2年：76%、3年：87%） → 質問7

#### (2) 今後の取組に向けて

##### 学校の組織力の充実

##### ○ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた組織的な授業改善の推進

- ☆ 「育成をめざす資質・能力」の明確化
- ☆ 授業開始時に目標（めあて・ねらい）を明示し、主体的・能動的な学びの推進
- ☆ 授業の最後に学習したことを振り返る活動の充実による学習内容の確実な定着
- ☆ 「総合的な探究の時間」等における課題解決的な学習や探究活動の充実
- ☆ 研修資料等を活用した校内研修の実施
- ☆ 学力の確実な定着に向けたPDCAサイクルの構築・確立

##### ○ 学校で学ぶことと社会との接続を意識し、教育活動全体を通じたキャリア教育の推進

- ☆ 教科等の授業において、学習内容と社会や職業との関連を意識させる取組の充実
- ☆ 社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力の育成につながる指導の工夫・改善

##### ○ 特色ある教育課程の編成

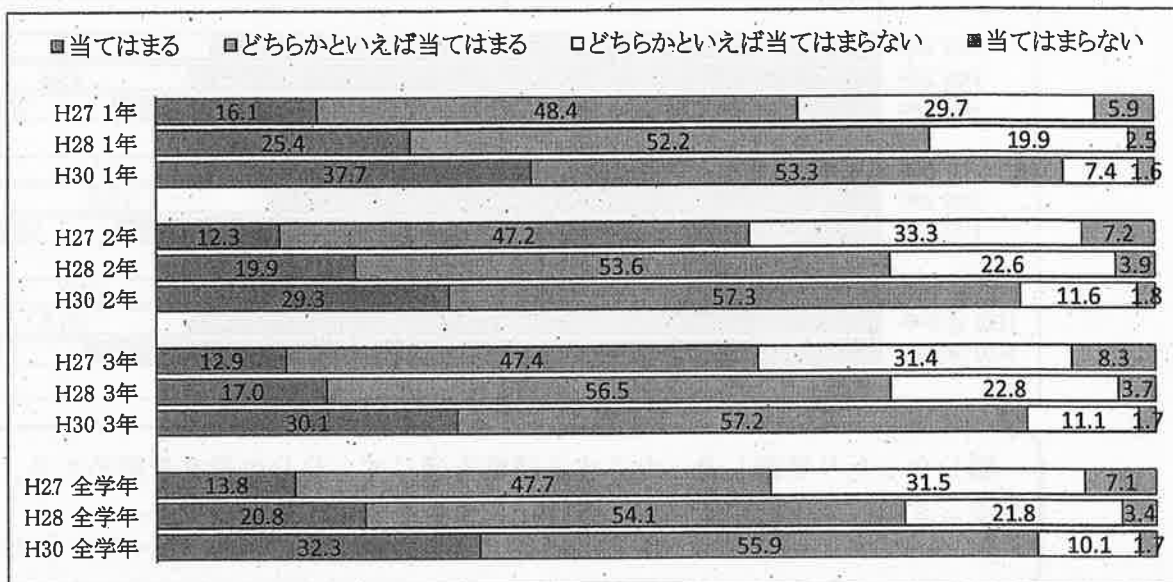
- ☆ 社会との連携・協働により新しい時代に求められる資質・能力を生徒に育む「社会に開かれた教育課程」の実現
- ☆ 教育課程に基づき組織的かつ計画的な教育活動における質の向上を図っていく「カリキュラム・マネジメント」の充実

## 2 質問ごとの状況

- ※ 「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」を肯定的な回答として集計している。
- ※ グラフの数値の単位は「%」である。

### 質問 1

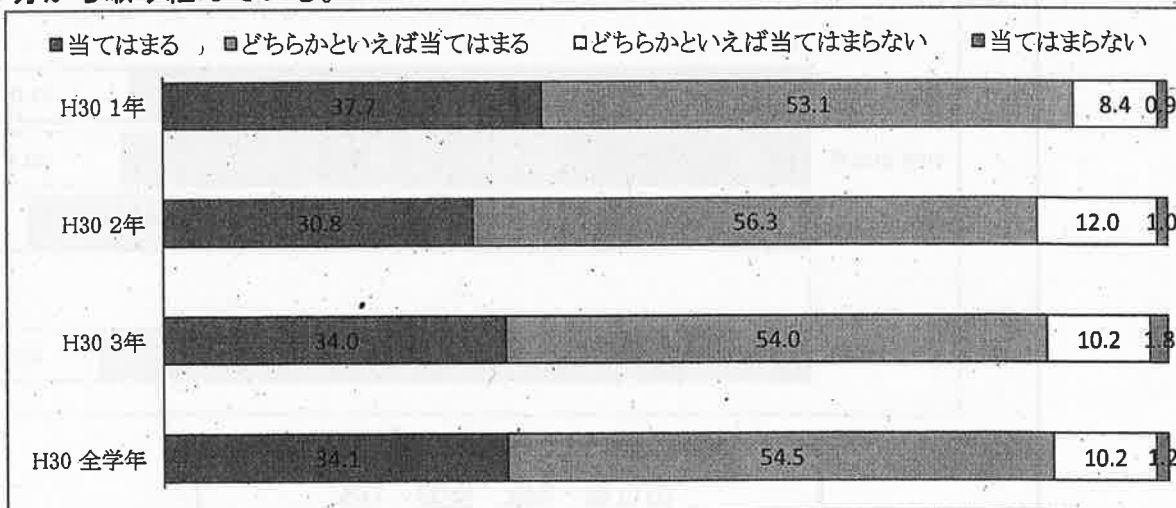
授業で示された目標（めあて・ねらい）を理解して取り組んでいる。



授業で示された目標（めあて・ねらい）を理解して取り組んでいる生徒の割合は全ての学年で増加している。  
（1年：78%→91%、2年：74%→87%、3年：74%→87% [H28→H30]）

### 質問 2

授業では、先生から示される課題や自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいる。

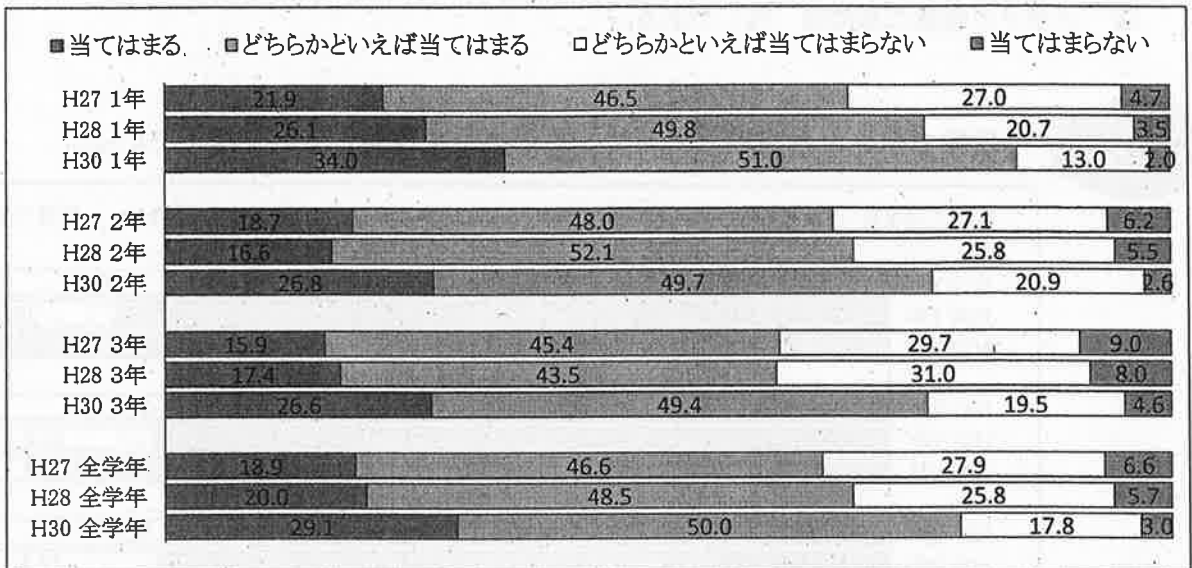


H30 全学年の生徒のうち89%の生徒が、授業で生じた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいる。

- ※ 以下、コメント欄において、調査年度が平成30年度の場合は「H30」の表記を、調査対象が全学年の場合は「全学年」の表記を省略する。

質問3

授業では、生徒の間で話し合ったり、発表し合ったりする活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。



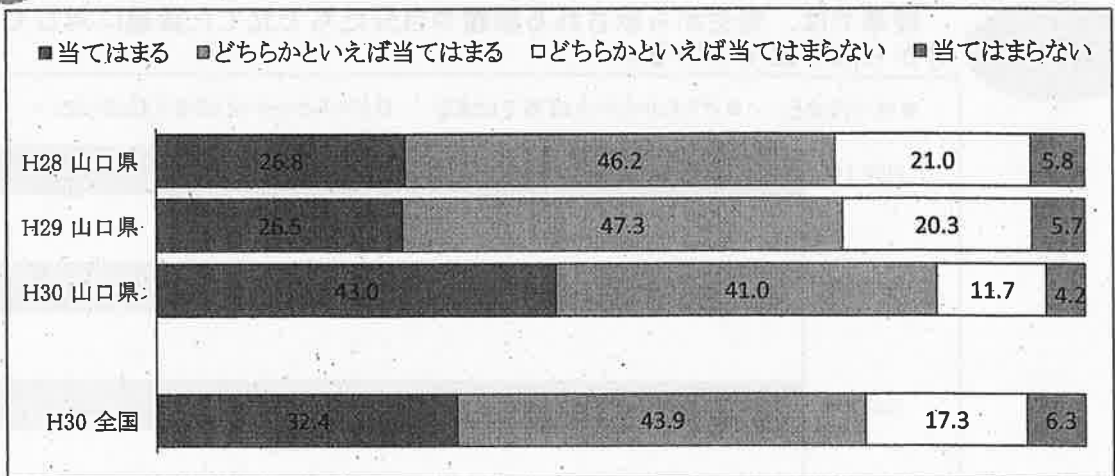
話し合ったり発表し合ったりする活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：76%→85%、2年：69%→77%、3年：61%→76% [H28→H30])

<参考> 全国学力・学習状況調査質問紙 (対象学年：中学校3年)

質問

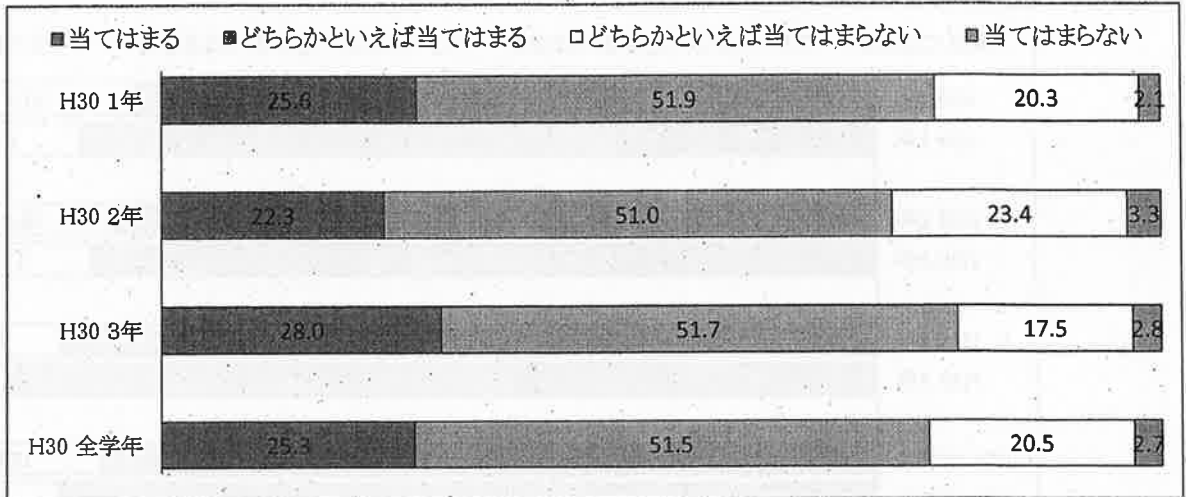
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。



山口県：84%、全国：76%

質問4

授業を通して、異なる単元や教科で学習した内容を結び付けて考える力が身に付いている。

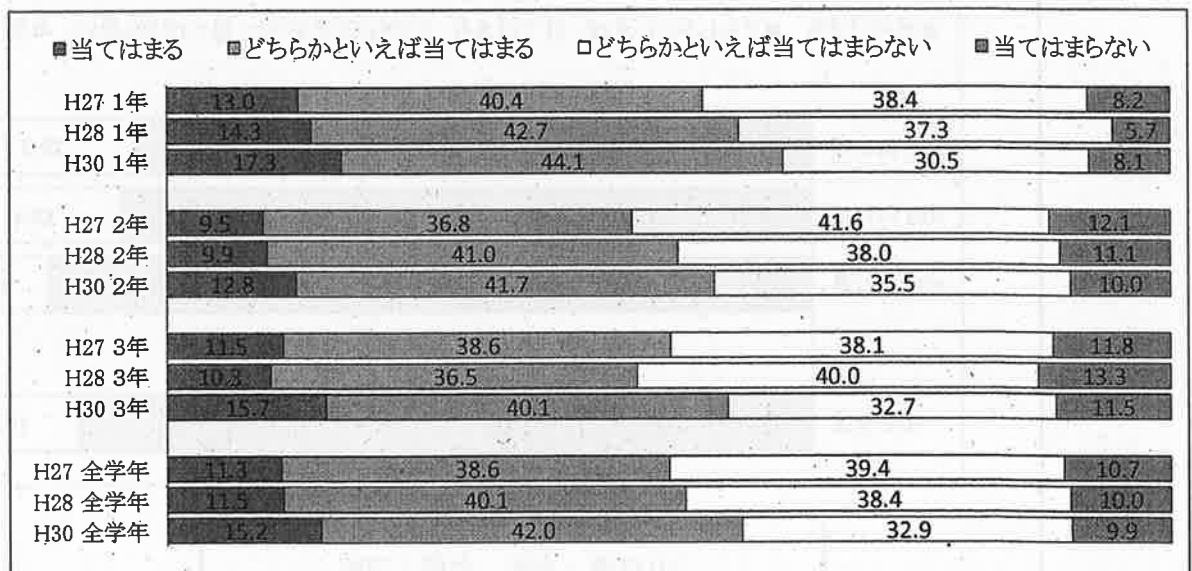


授業を通して、異なる単元や教科で学習した内容を結び付けて考える力が身に付いている生徒の割合は、学年別にみると3年が高い。

(1年：78%、2年：73%、3年：80%)

質問5

授業の最後に、学習した内容を振り返ったりまとめたりしている。

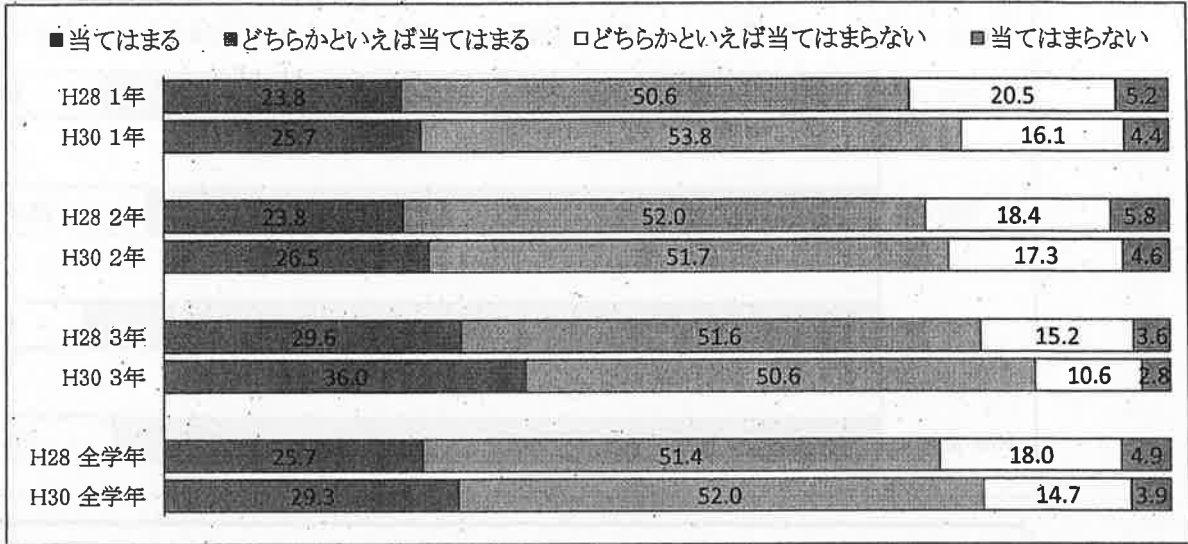


授業の最後に、学習した内容を振り返ったりまとめたりしている生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：57%→61%、2年：51%→55%、3年：47%→56% [H28→H30])

質問 6

自分には、よいところがある。



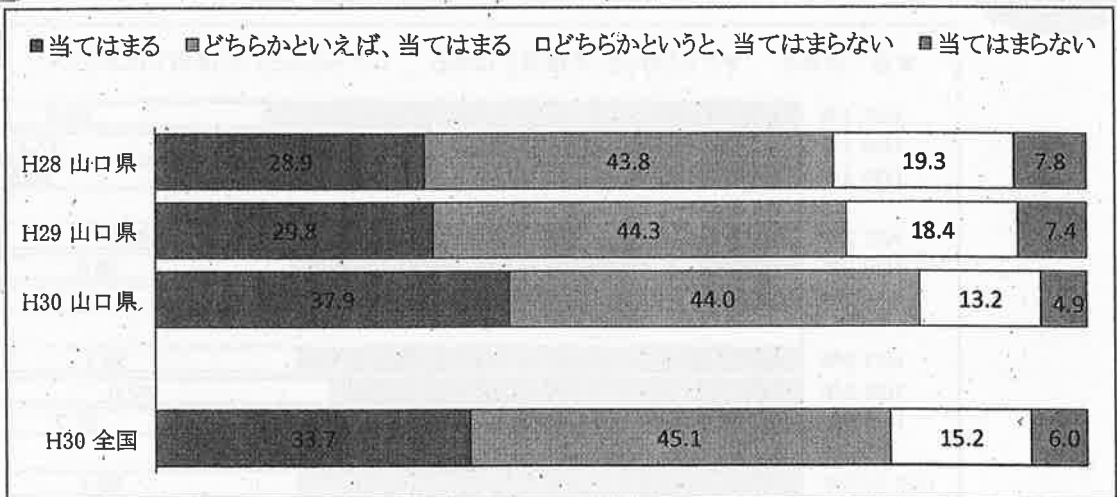
自分にはよいところがあると思っている生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：74%→80%、2年：76%→78%、3年：81%→87% [H28→H30])

<参考> 全国学力・学習状況調査質問紙 (対象学年：中学校3年)

質問

自分には、よいところがあると思う。

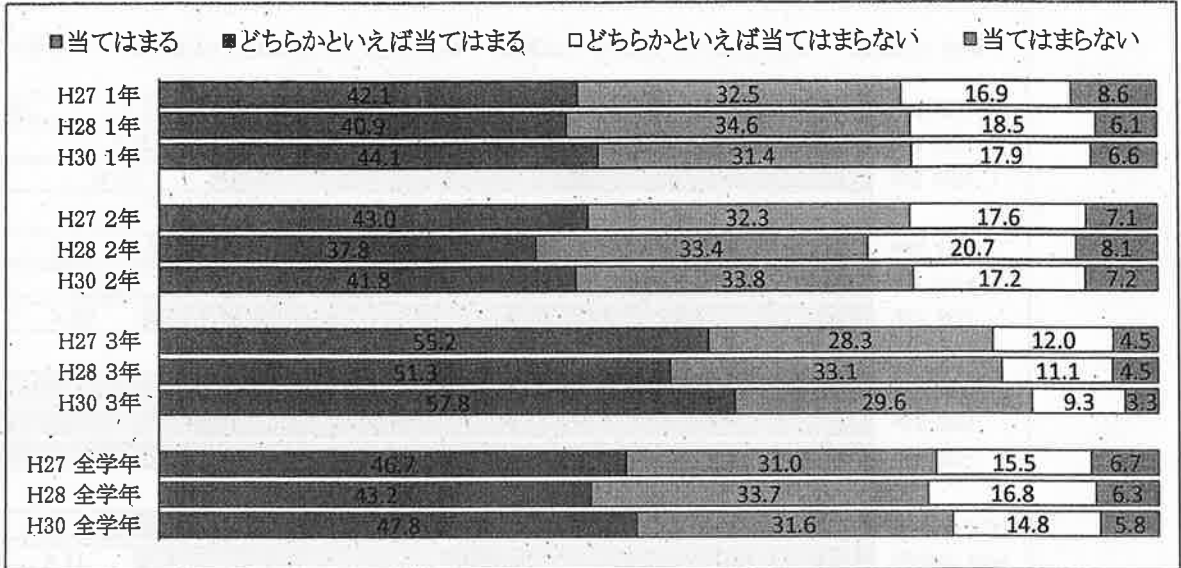


山口県：82%、全国：79%



質問 7

将来の夢や目標をもっている。

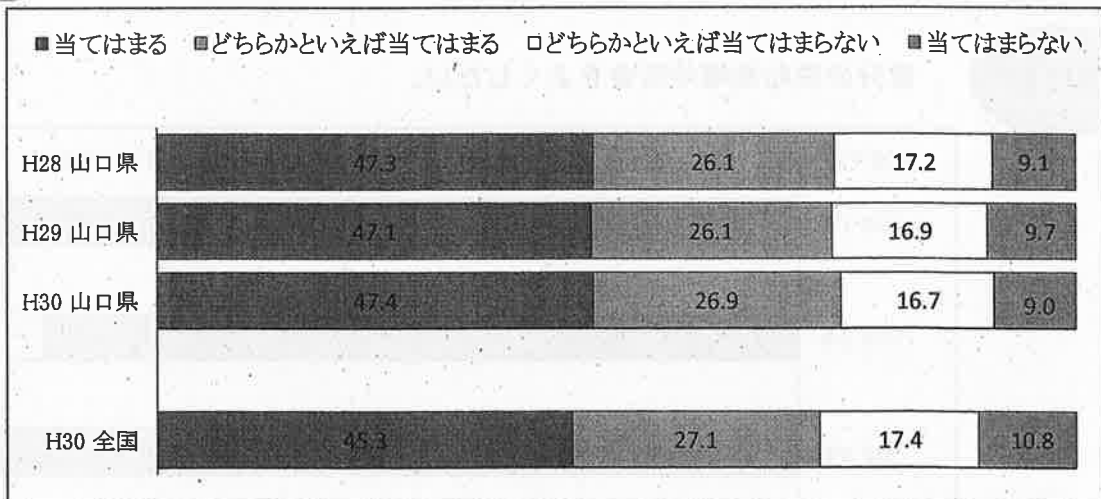


将来の夢や目標をもっている生徒の割合は、学年別にみると3年が高い。  
(1年：76%、2年：76%、3年：87%)

<参考> 全国学力・学習状況調査質問紙（対象学年：中学校3年）

質問

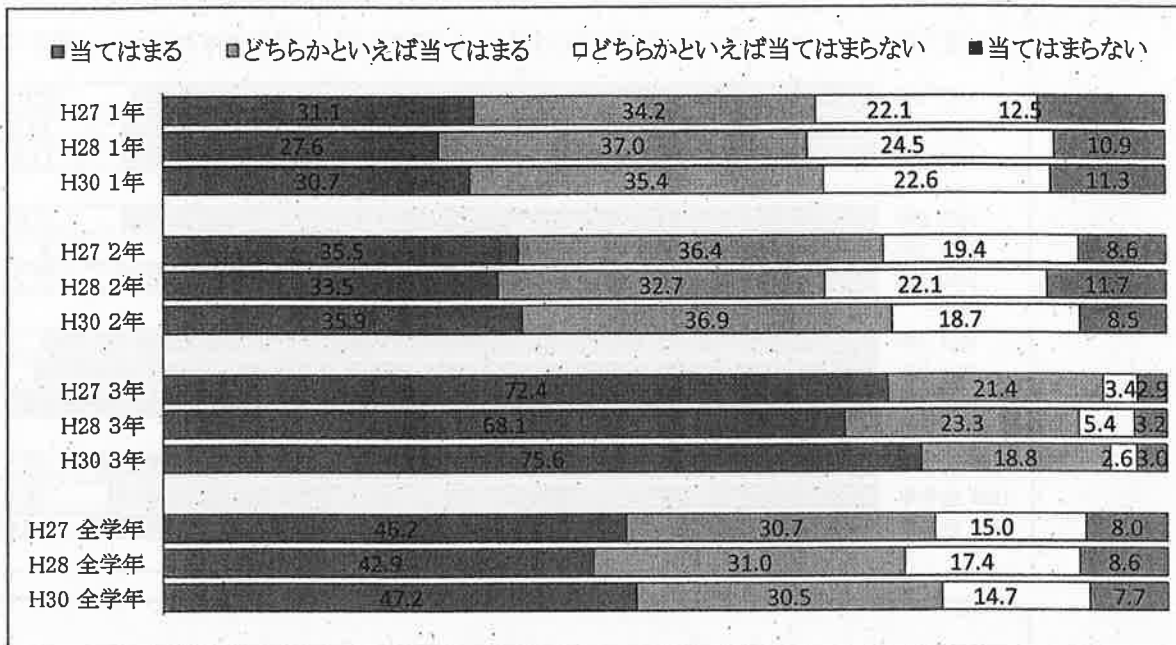
将来の夢や目標をもっている。



山口県：74%、全国：72%

質問 8

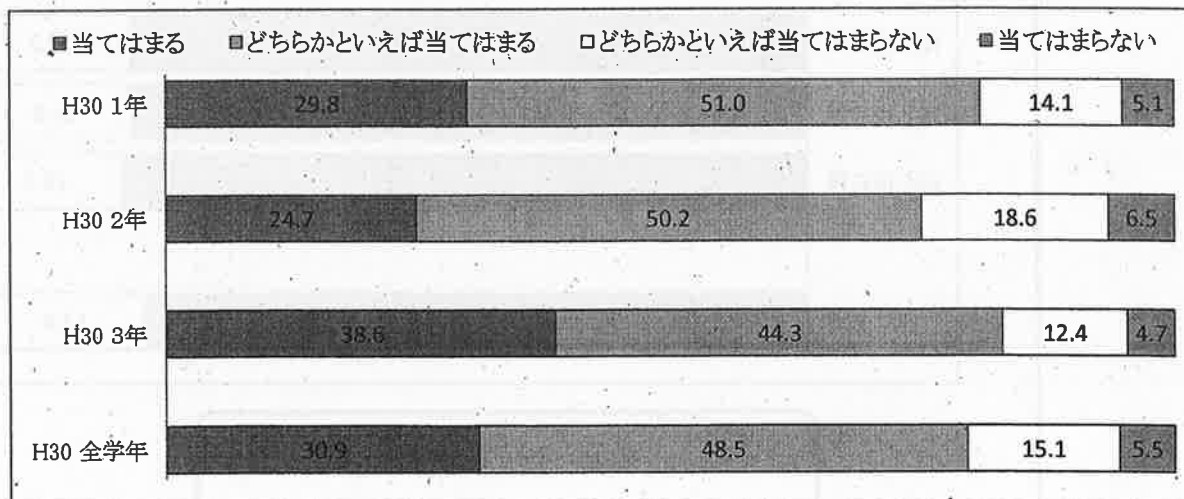
高校卒業後の希望進路が決まっている。



1年：66%、2年：73%、3年：94%の生徒が、高校卒業後の希望進路が決まっている。

質問 9

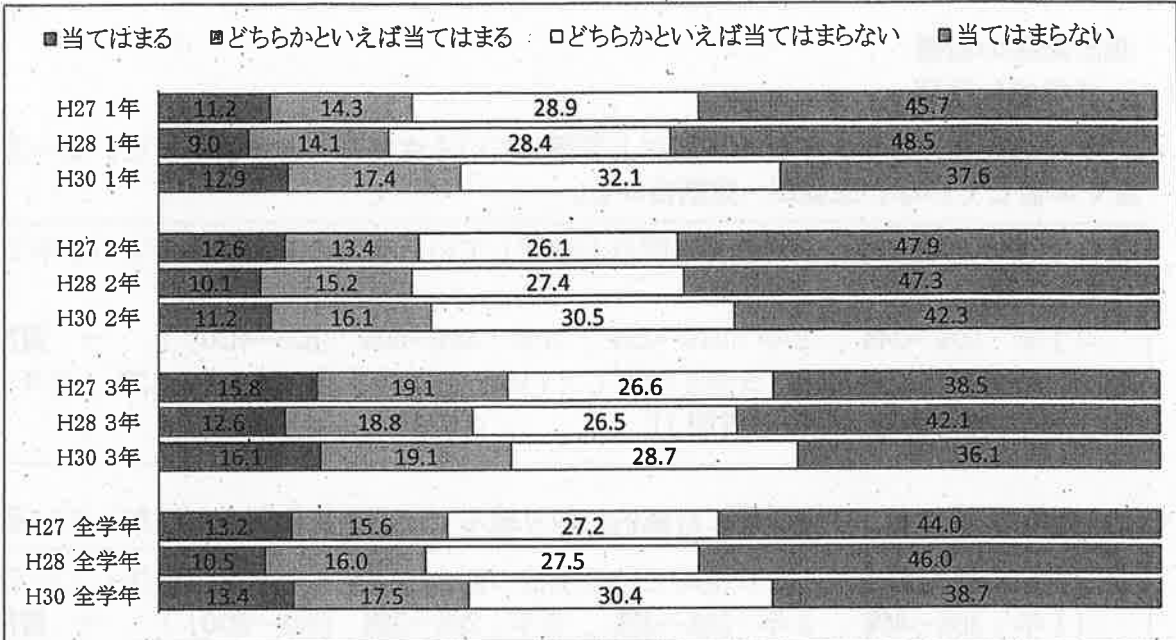
自分の住む地域や社会をよくしたい。



79%の生徒が、自分の住む地域や社会をよくしたいと思っている。

質問 10

将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたい。



将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思う生徒の割合は増加している。  
 ( 27%→31% [H28→H30] )

### Ⅲ 学習習慣に関する質問について

#### 1 集計結果の概要

##### (1) 特徴的な事柄

- 学校の授業以外で、平日2時間以上学習している生徒の割合が微増している一方で、全く学習していない生徒が一定割合いる。

□ 学校の授業以外で、平日2時間以上学習している生徒の割合は、全ての学年で微増している。

(1年:20%→24%、2年:23%→25%、3年:45%→50% [H28→H30]) → 質問11

□ 学校の授業以外で、平日全く学習していない生徒の割合は、1年:12%、2年:21%、3年:22%である。 → 質問11

- 予習・復習など、家庭学習に計画的に取り組んでいる生徒の割合が増加している。

□ 学校の授業の予習に取り組んでいる生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年:30%→46%、2年:28%→35%、3年:28%→38% [H28→H30]) → 質問14

□ 学校の授業の復習に取り組んでいる生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年:48%→64%、2年:39%→55%、3年:39%→59% [H28→H30]) → 質問15

□ 家庭学習に計画的に取り組んでいる生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年:37%→56%、2年:36%→50%、3年:48%→68% [H28→H30]) → 質問17

##### (2) 今後の取組に向けて

#### 学校・家庭・地域の連携力の強化

- 「予習－授業－復習」のサイクルの確立に向けた家庭等との連携強化

- ☆ 各教科・科目の学習方法や学ぶ意義について、生徒に継続的な指導
- ☆ 家庭学習（宿題、予習、復習）を生かした授業展開の推進
- ☆ 学習状況アンケートや個人面談等を活用し、授業や家庭学習時間等の状況把握
- ☆ 授業内容の理解や家庭学習の状況など、保護者等に生徒や学校情報の積極的な発信

- 生徒の主体的な学習態度の育成に向け、家庭・地域との連携による教育活動の充実

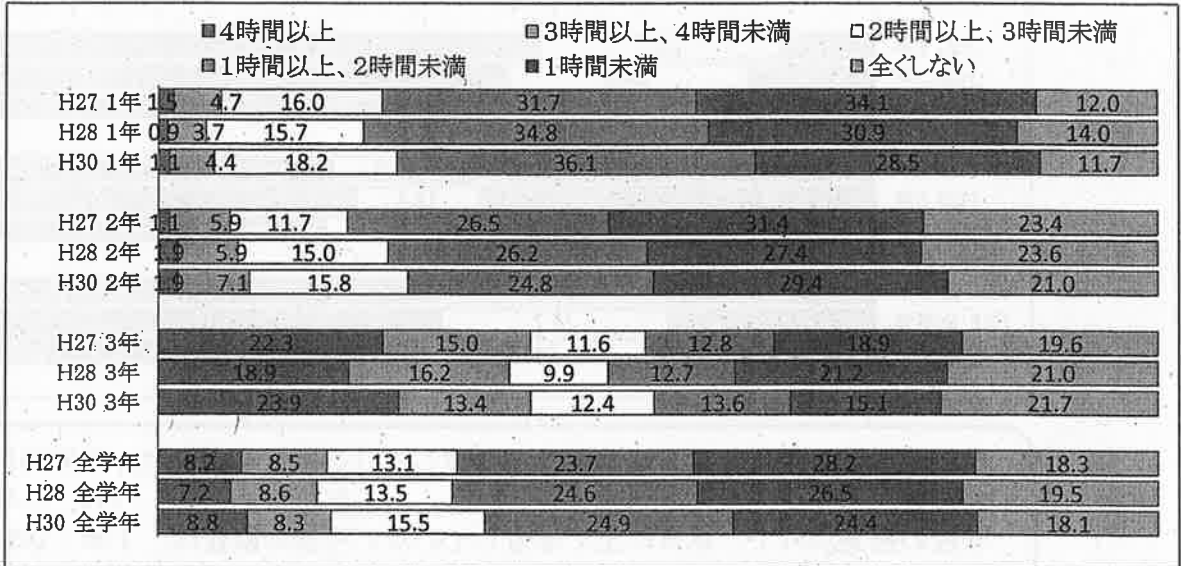
- ☆ 大学・企業等と協働した課題解決型学習の推進
- ☆ 社会奉仕活動やインターンシップ等、地域の教育資源を活用した体験活動の充実
- ☆ 学校での学習を生かし、学校外での各種競技会やコンテスト等への参加促進

## 2 質問ごとの状況

※ 質問11から質問18までは、「学校の授業以外の学習」についての質問である。  
 「学校の授業以外の学習」とは、家庭での学習、学校での課外授業や自習室での学習、学習塾での学習等のことである。

### 質問 1 1

平日、1日当たりの平均の学習時間はどの程度ですか。



平日2時間以上学習している生徒の割合は、学年別にみると3年が高い。

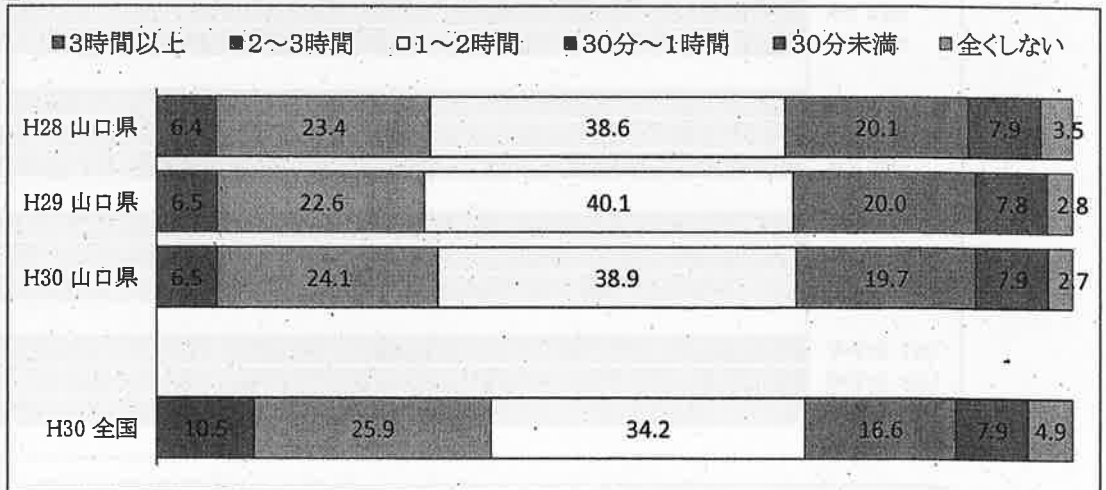
(1年：24%、2年：25%、3年：50%)

学校の授業以外で、平日に全く学習していない生徒の割合は、1年：12%、2年：21%、3年：22%である。

<参考> 全国学力・学習状況調査質問紙（対象学年：中学校3年）

### 質問

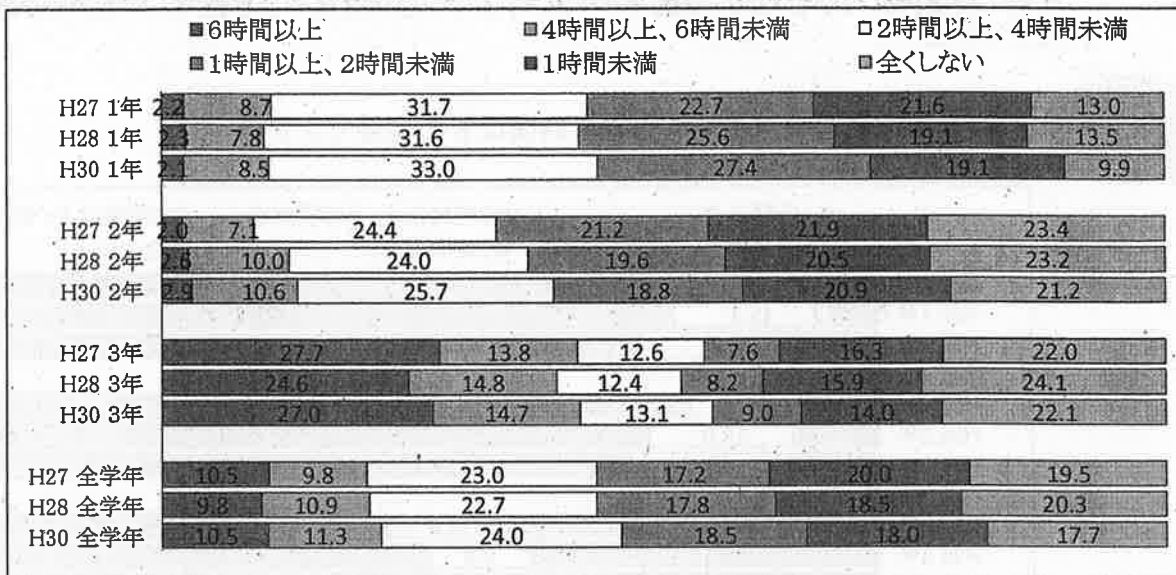
普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか



2時間以上勉強している割合 山口県：31%、全国：36%

質問 1 2

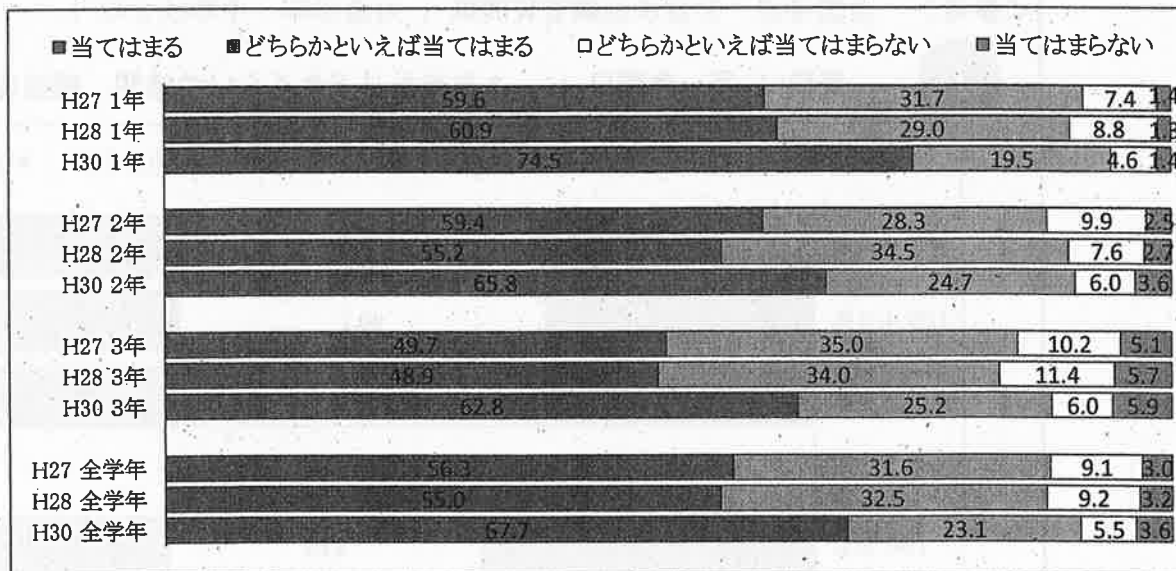
学校が休みの日、1日当たりの平均の学習時間はどの程度ですか。



学校の授業以外で、休日4時間以上学習している生徒の割合は、学年別にみると3年が高い。  
 (1年：11%、2年：14%、3年：42%)  
 学校の授業以外で、休日に全く学習していない生徒の割合は、1年：10%、2年：21%、3年：22%である。

質問 1 3

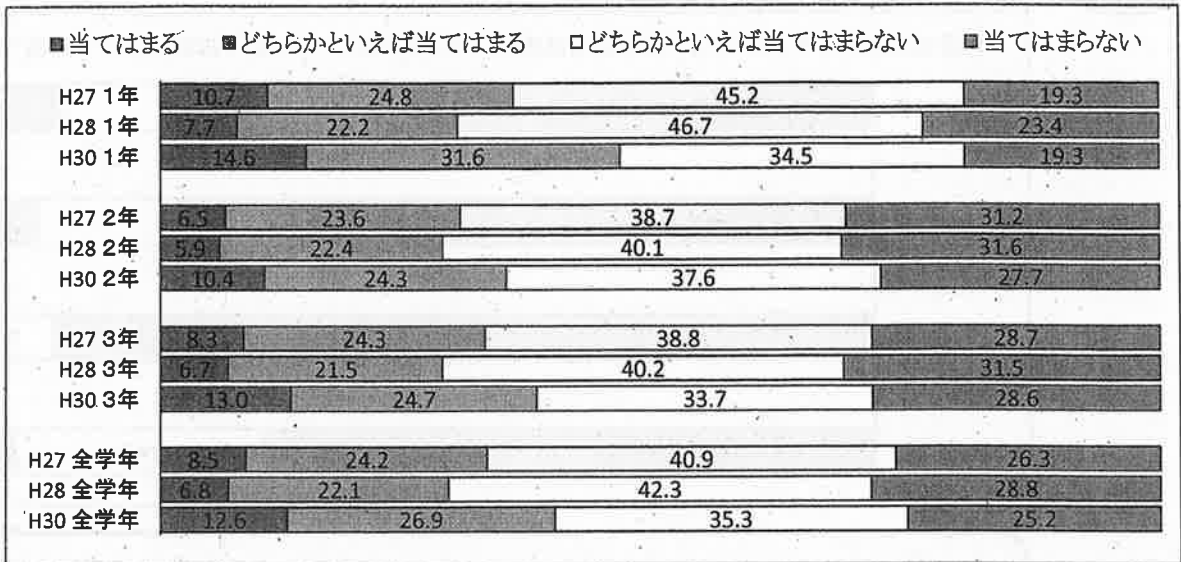
学校の宿題（週末課題等）に取り組んでいる。



91%の生徒が学校の授業以外の学習で、宿題に取り組んでいる。

質問 1 4

学校の授業の予習に取り組んでいる。

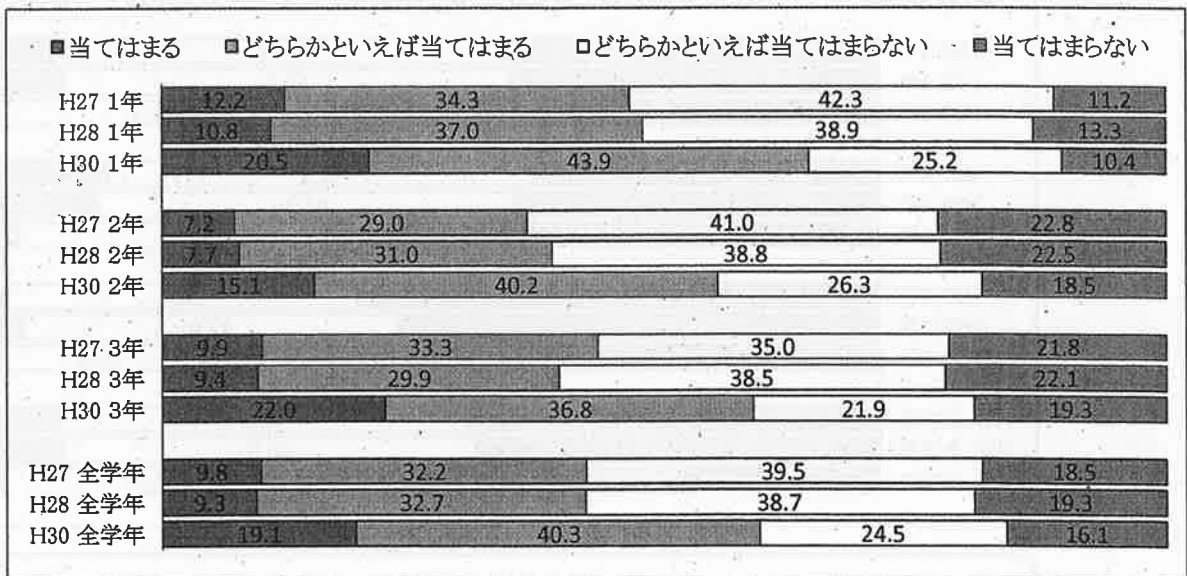


学校の授業以外の学習で、予習に取り組んでいる生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：30%→46%、2年：28%→35%、3年：28%→38% [H28→H30])

質問 1 5

学校の授業の復習に取り組んでいる。

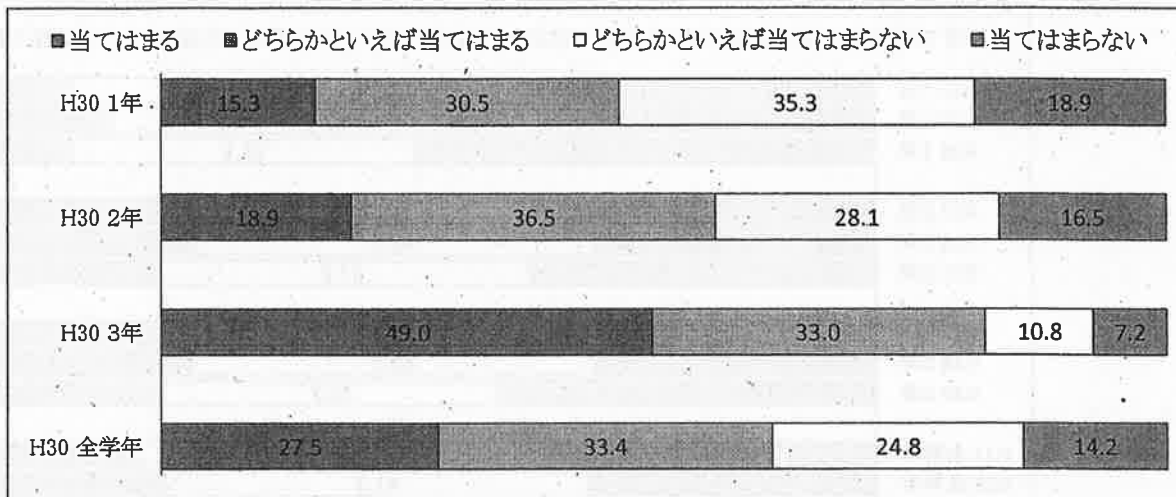


学校の授業以外の学習で、復習に取り組んでいる生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：48%→64%、2年：39%→55%、3年：39%→59% [H28→H30])

質問 16

進学や就職など進路実現に向けた学習に取り組んでいる（英語検定試験や資格取得等も含む。）。

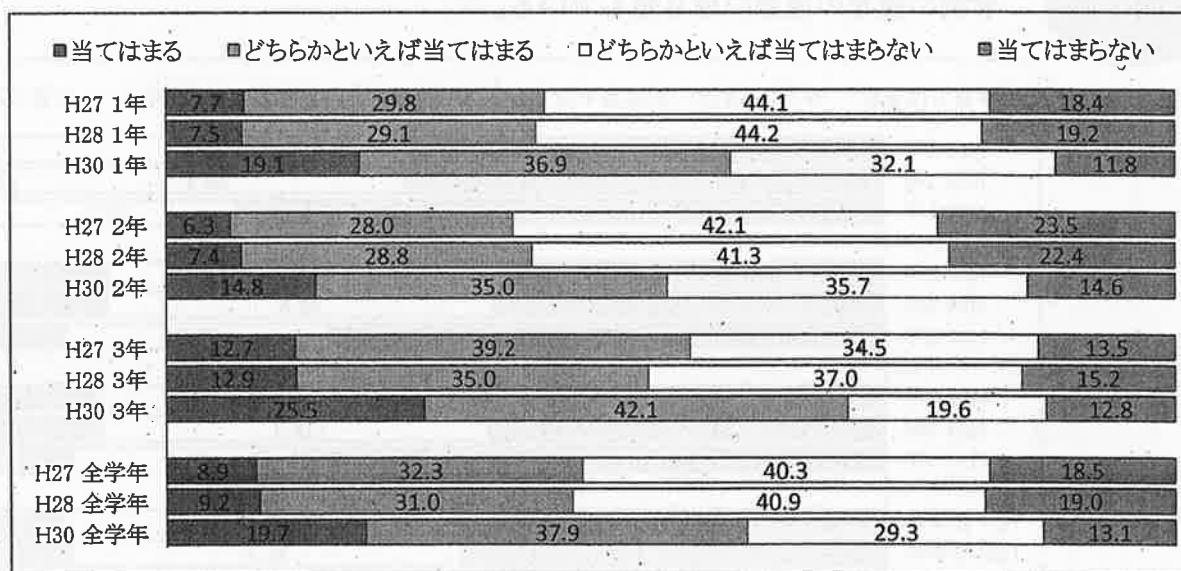


進学や就職など、進路実現に向けた学習に取り組んでいる生徒の割合は、学年別に見ると3年が高い。

(1年：46%、2年：55%、3年：82%)

質問 17

学校の授業以外の学習に、計画的に取り組んでいる。



学校の授業以外の学習に、計画的に取り組んでいる生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：37%→56%、2年：36%→50%、3年：48%→68% [H28→H30])



質問 18

学校の授業以外の学習は、授業の内容を理解することにつながっている。

	■ 当てはまる	■ どちらかといえば当てはまる	□ どちらかといえば当てはまらない	■ 当てはまらない
H27 1年	34.1	48.9	13.5	3.5
H28 1年	33.3	51.3	11.6	3.8
H30 1年	30.0	47.1	16.5	6.3
H27 2年	28.3	50.8	14.6	6.3
H28 2年	26.6	51.5	15.4	6.6
H30 2年	21.8	49.5	19.1	9.5
H27 3年	27.1	54.1	12.5	6.3
H28 3年	27.8	51.3	14.4	6.5
H30 3年	29.7	44.5	15.5	10.3
H27 全学年	29.8	51.2	13.6	5.4
H28 全学年	29.7	51.4	13.8	5.6
H30 全学年	27.1	47.1	17.1	8.7

学校の授業以外の学習は、授業内容の理解につながっている生徒の割合は、全ての学年で減少している。  
 (1年：85%→77%、2年：78%→71%、3年：79%→74% [H28→H30])

## IV 各教科（国語・数学・英語）の学習に関する質問について

### 1 集計結果の概要

#### (1) 特徴的な事柄

○ 各教科の有用性を感じている生徒の割合が増加している。

- 教科の学習が大切だと思っている生徒の割合は増加している。  
(国語：89%→93%、数学：78%→88%、英語：89%→93% [H28→H30]) → 質問19、24、29
- 教科の学習が将来社会に出たときに役立つと思っている生徒は増加している。  
(国語：86%→91%、数学：62%→71%、英語：89%→92% [H28→H30]) → 質問20、25、30

○ 教科の学習内容をよく理解していると思っている生徒の割合は7割程度であり、表現力が身に付いていると思っている生徒の割合は6～7割程度である。

- 教科の学習内容をよく理解していると思っている生徒の割合は、国語：75%、数学：70%、英語：68%である。 → 質問21、26、31
- 教科の学習を通して、表現力が身に付いていると思っている生徒の割合は、国語：74%、数学：59%、英語：61%である。 → 質問23、28、33

○ 生徒の5割程度が、英語の4技能を測る外部検定試験を受験する予定である(受験した)。

- 英語の4技能を測る外部検定試験を受験する予定である(受験した)生徒の割合は、51%であり、学年別にみると、1年：61%、2年：52%、3年：41%である。 → 質問34

#### (2) 今後の取組に向けて

##### 教員の授業力の向上

○ 各教科における「見方・考え方」を働かせた学びを実現する授業の実践

- ☆ 単元や題材における教科等ならではの「見方・考え方」の明確化、学習課題や発問の構想
- ☆ 話し合う活動、横断的・総合的な学習等を通じて、「見方・考え方」を働かせる学びの充実
- ☆ 大学入学共通テストや英語の外部検定試験など、大学入学者選抜改革などを踏まえた指導の充実
- ☆ ICTを効果的に活用した授業の実践

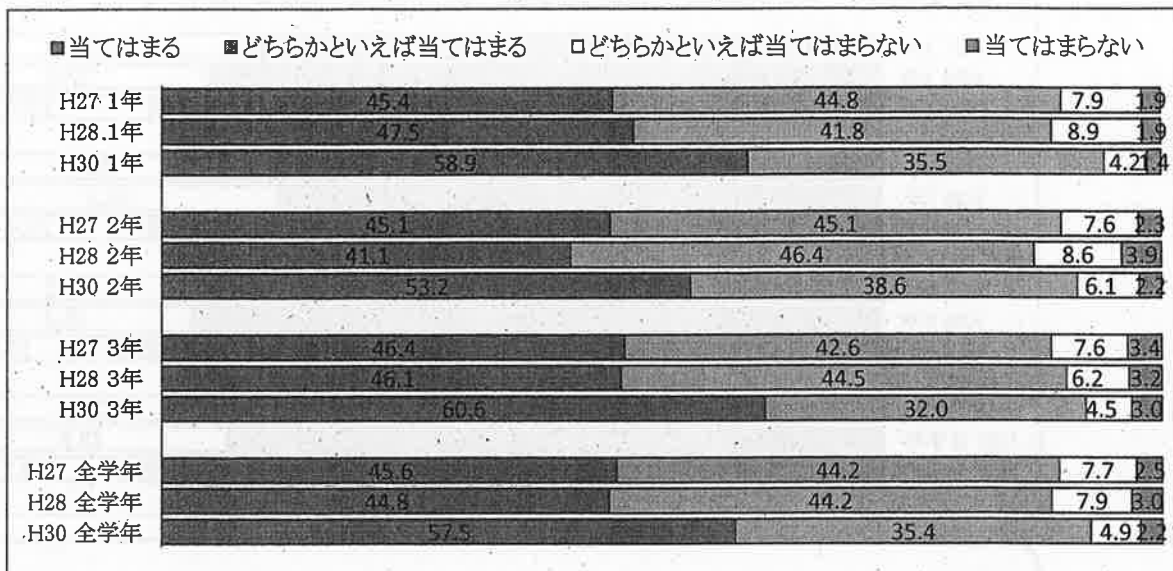
○ 「育成をめざす資質・能力」の確実な育成

- ☆ 単元や題材のまとまりの中でどのような資質・能力を育成するかを体系的に整理
- ☆ 多様な評価方法の工夫・改善

## 2 質問ごとの状況

### 質問 19

#### 国語の学習は大切だ。

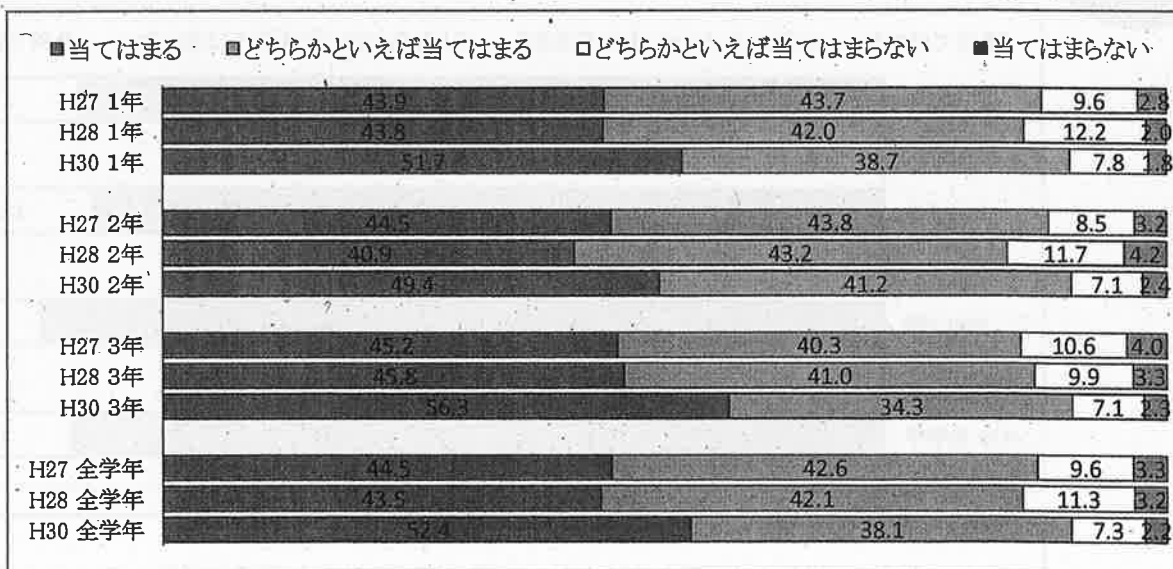


国語の学習は大切と思っている生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：89%→94%、2年：88%→92%、3年：91%→93% [H28→H30])

### 質問 20

#### 国語の学習は将来社会に出たときに役立つ。

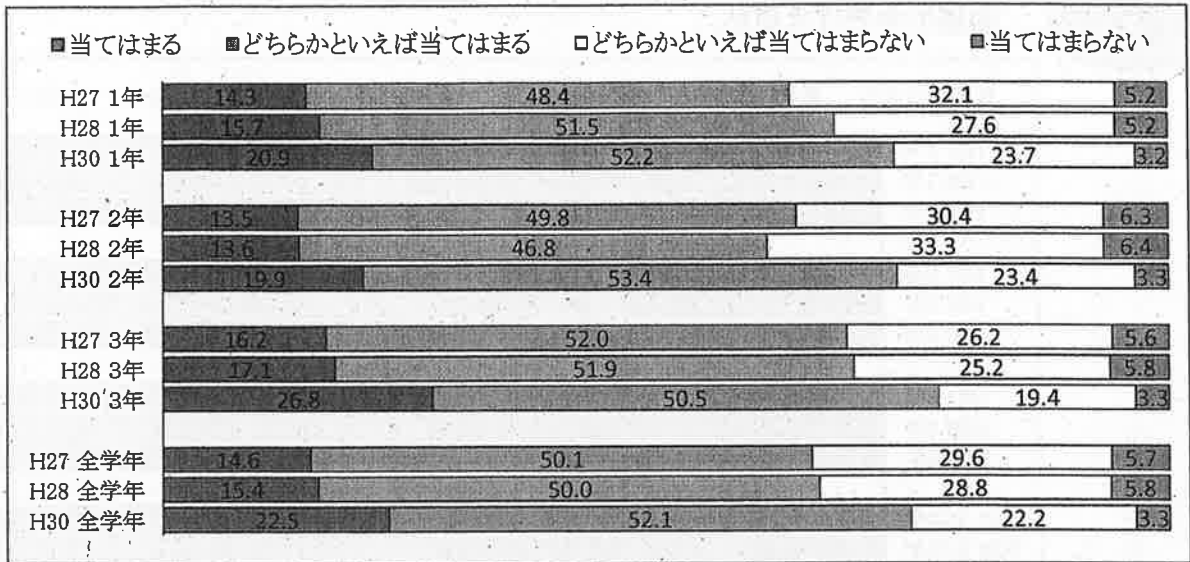


国語の学習は将来社会に出たときに、役立つと思っている生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：86%→90%、2年：84%→91%、3年：87%→91% [H28→H30])

質問 2 1

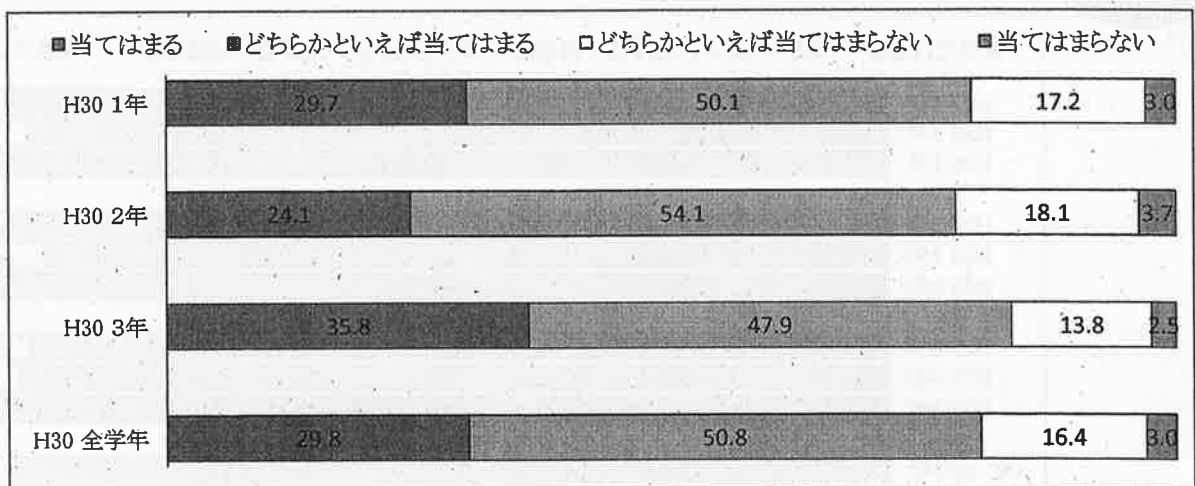
高校に入学してから現在までの国語の学習内容をよく理解できている。



国語の学習内容をよく理解できている生徒の割合は、全ての学年で増加している。  
 (1年：67%→73%、2年：60%→73%、3年：69%→77% [H28→H30])

質問 2 2

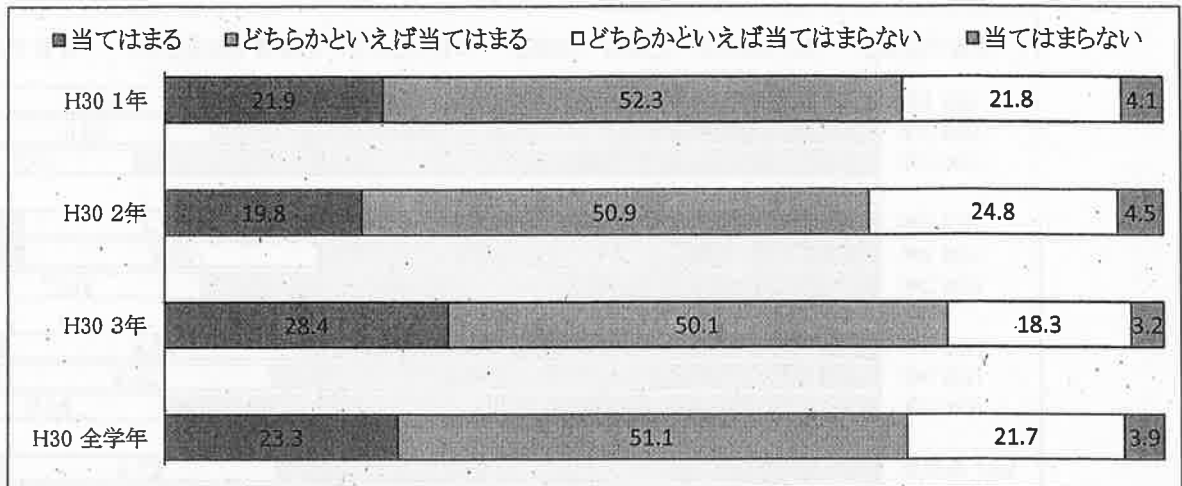
国語の学習を通して、文章を理解する力が身に付いている。



81%の生徒が国語の学習を通して、文章を理解する力が身に付いていると思っている。

質問 2 3

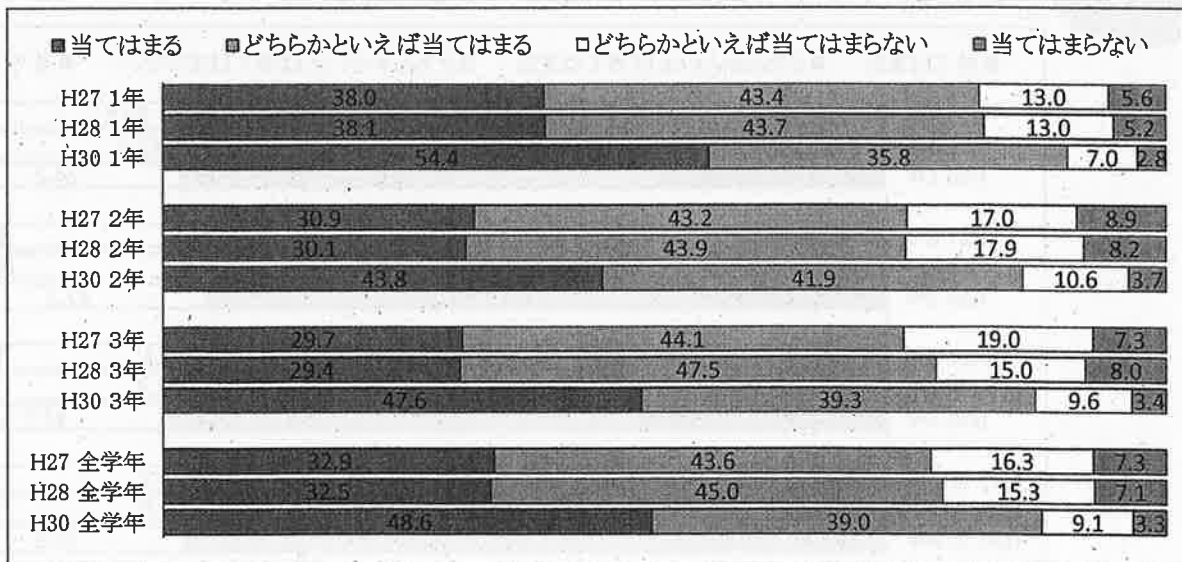
国語の学習を通して、論理的に思考し、適切な言葉で表現する力が身に付いている。



74%の生徒が国語の学習を通して、論理的に思考し、適切な言葉で表現する力が身に付いていると思っている。

質問 2 4

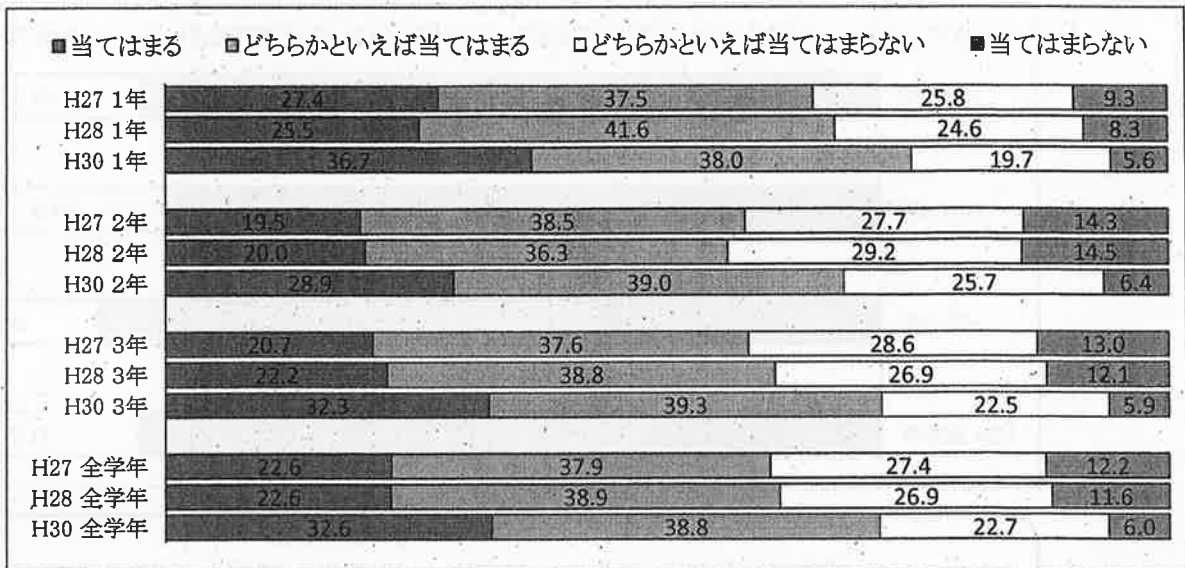
数学の学習は大切だ。



数学の学習は大切だと思っている生徒の割合は、全ての学年で増加している。  
 (1年：82%→90%、2年：74%→86%、3年：77%→87% [H28→H30])

質問 2 5

数学の学習は将来社会に出たときに役立つ。

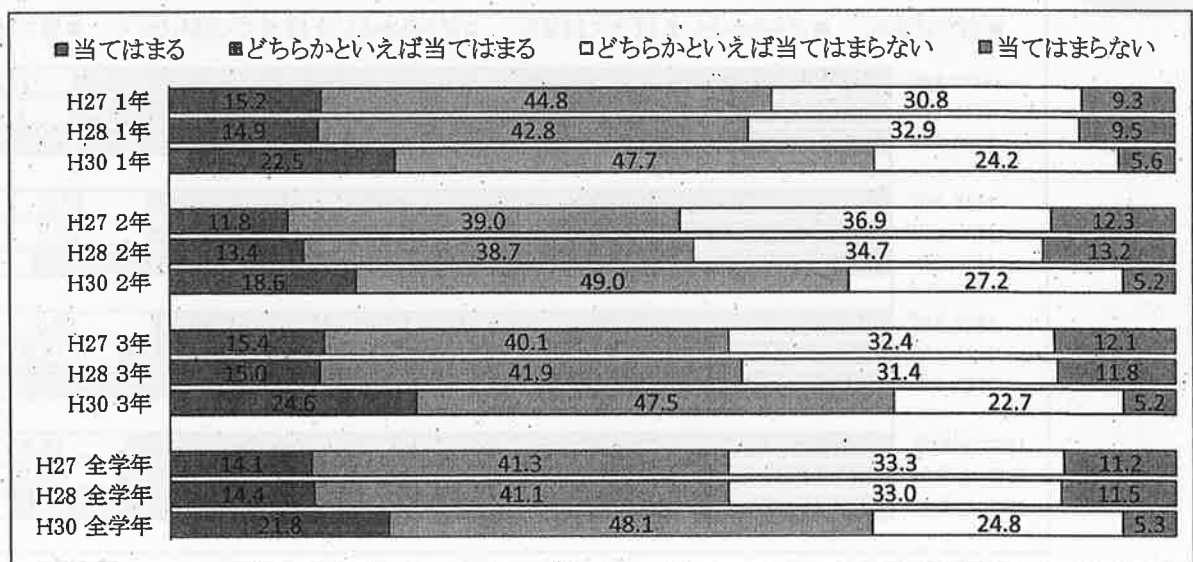


数学の学習は将来社会に出たときに、役立つと思っている生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：67%→75%、2年：56%→68%、3年：61%→72% [H28→H30])

質問 2 6

高校に入学してから現在までの数学の学習内容をよく理解できている。

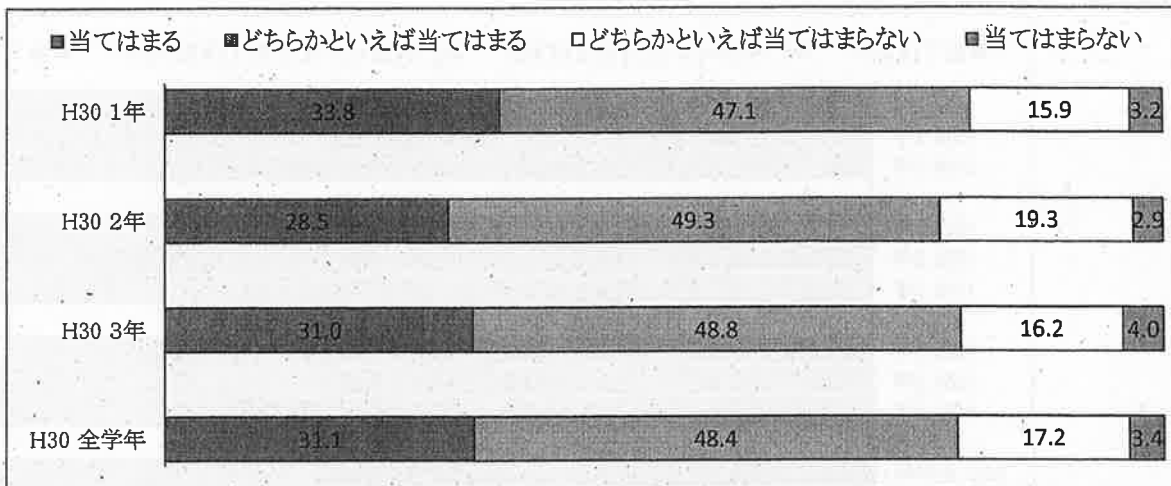


数学の学習内容をよく理解できている生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：58%→70%、2年：52%→68%、3年：57%→72% [H28→H30])

質問 27

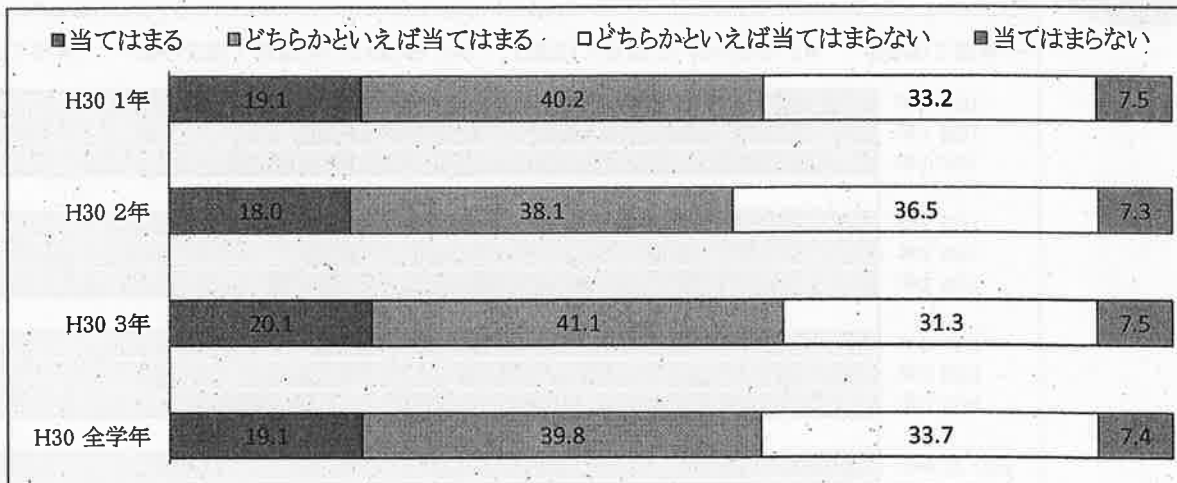
数学の学習を通して、授業で示された問題を自分の力で解けるようになるまで取り組むようにしている。



80%の生徒が授業で示された問題を自分の力で解けるようになるまで取り組むようにしている。

質問 28

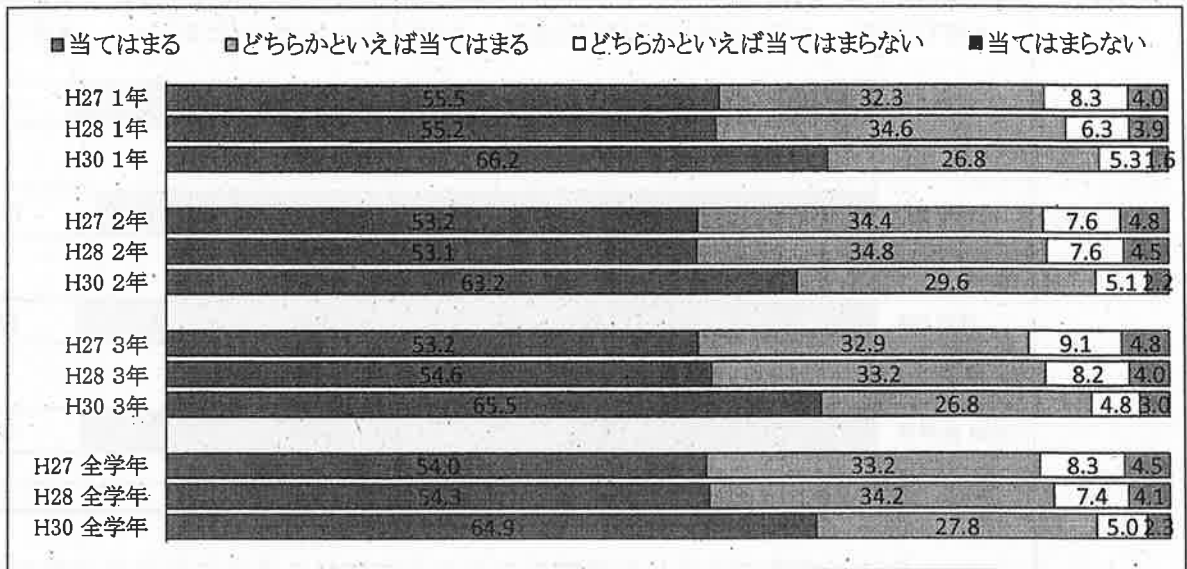
数学の学習を通して、自分の考えを他者に伝える際には、根拠を明らかにして説明する力が身に付いている。



59%の生徒が数学の学習を通して、根拠を明らかにして説明する力が身に付いていると思っている。

質問 29

英語の学習は大切だ。

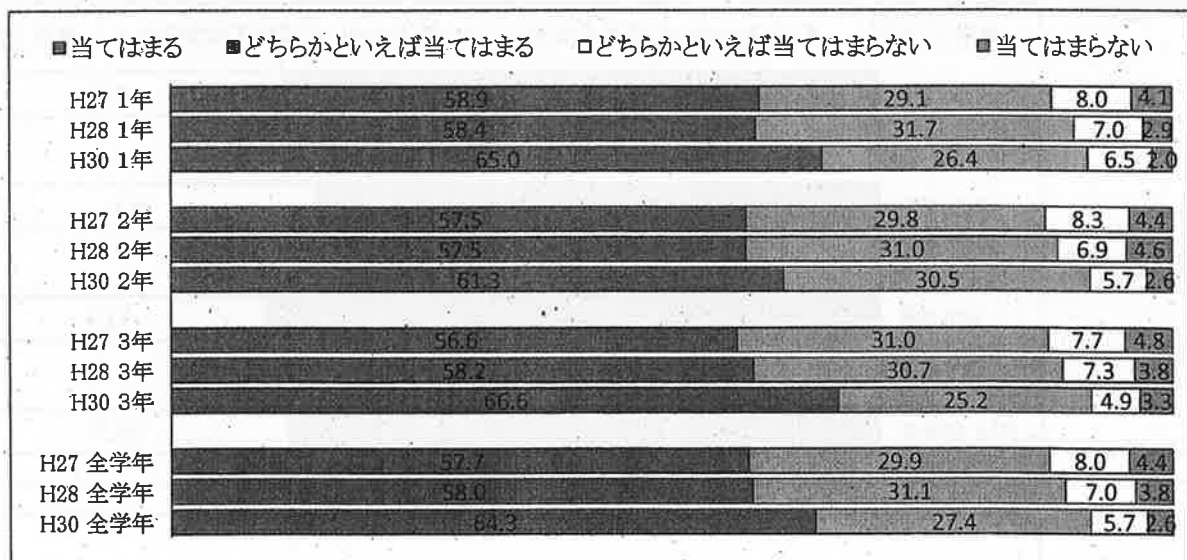


英語の学習は大切だと思っている生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：90%→93%、2年：88%→93%、3年：88%→92% [H28→H30])

質問 30

英語の学習は将来社会に出たときに役立つ。



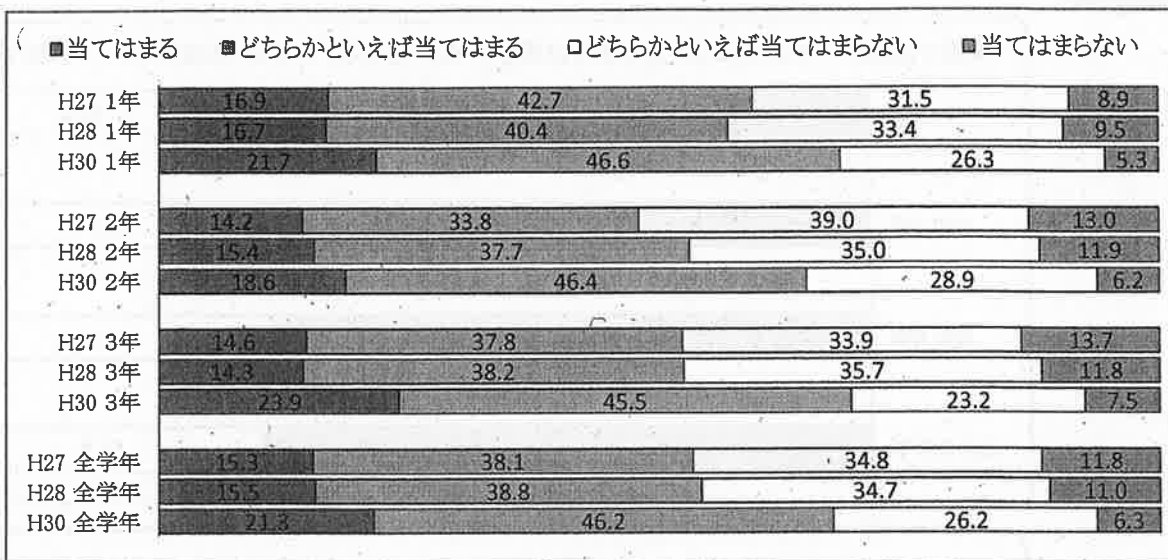
英語の学習は将来社会に出たときに、役立つと思っている生徒の割合は、全ての学年で増加している。

(1年：90%→91%、2年：89%→92%、3年：89%→92% [H28→H30])



質問 3 1

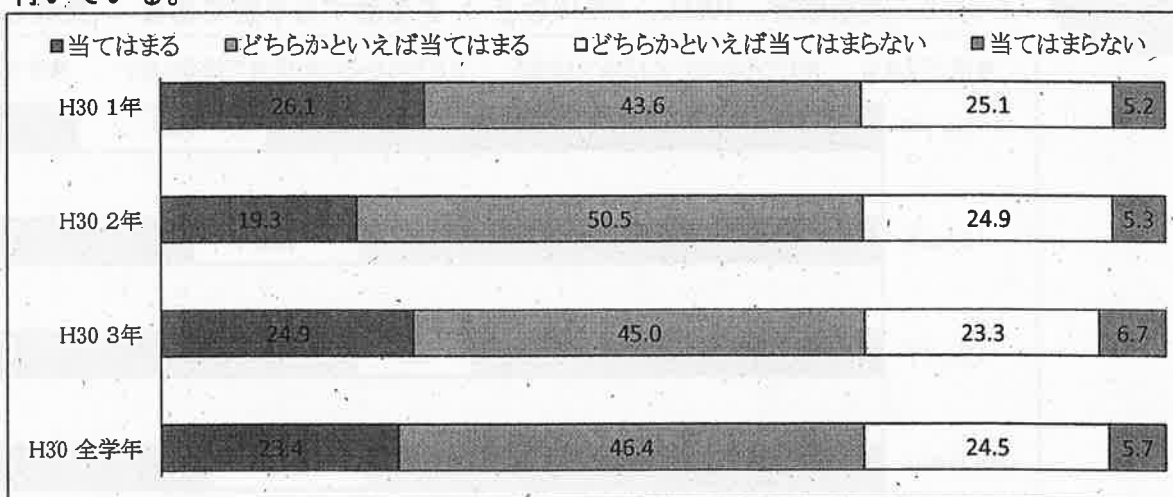
高校に入学してから現在までの英語の学習内容をよく理解できている。



英語の学習内容をよく理解できている生徒の割合は、全ての学年で増加している。  
 (1年: 57%→68%、2年: 53%→65%、3年: 53%→69% [H28→H30])

質問 3 2

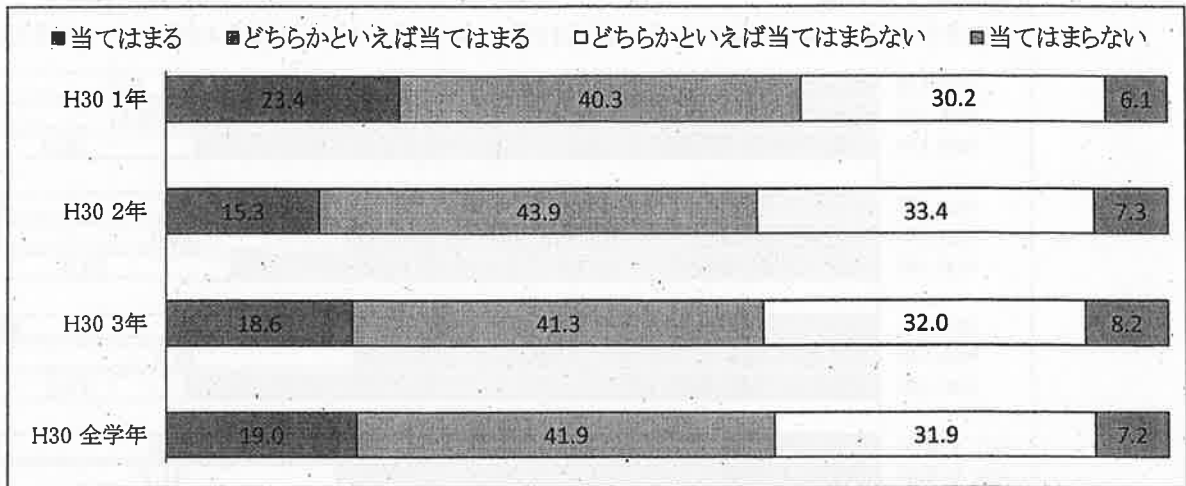
英語を聞いたり読んだりする活動を通して、英語の内容を的確に理解する力が身に付いている。



70%の生徒が英語を聞いたり読んだりする活動を通して、英語の内容を的確に理解する力が身に付いていると思っている。

質問 3 3

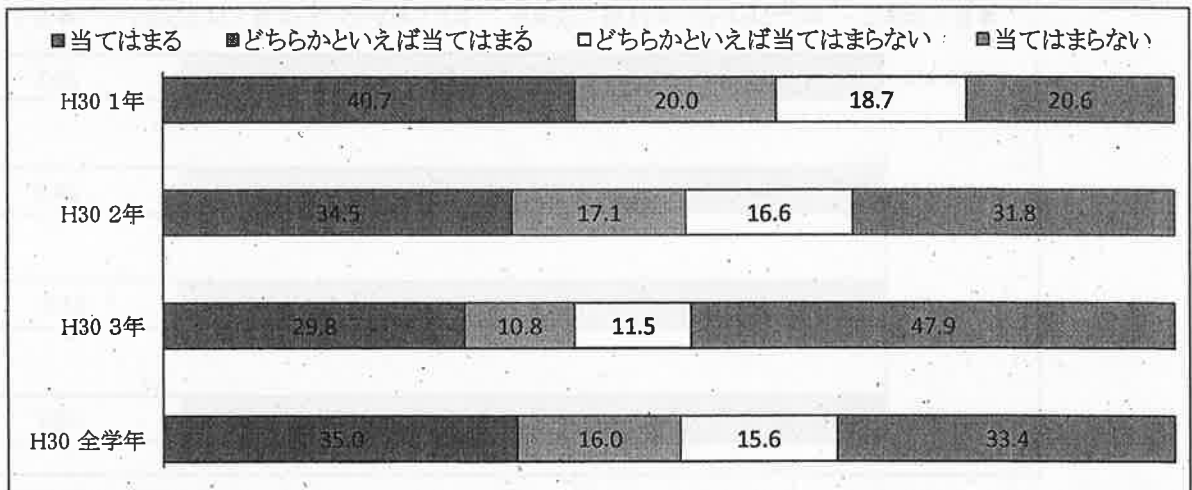
英語を話したり書いたりする活動を通して、英語で気持ちや考えを伝える力が身に付いている。



61%の生徒が英語を話したり書いたりする活動を通して、英語で気持ちや考えを伝える力が身に付いていると思っている。

質問 3 4

高校在学中に、英語の4技能（聞く・読む・話す・書く）を測る外部検定試験（GTEC、英語検定、TOEFL、TOEICなど）を受験する予定である（受験した。）。

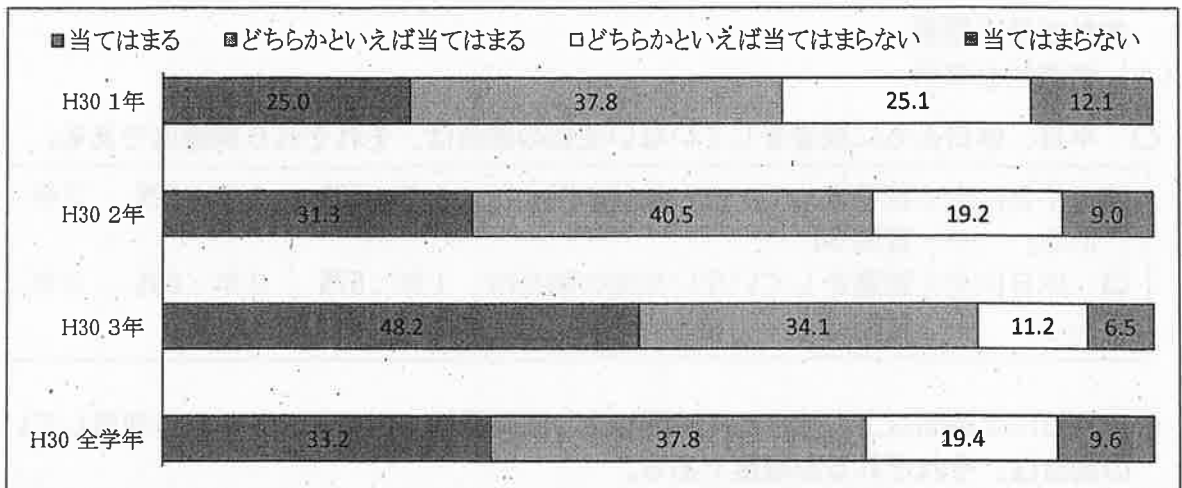


英語の4技能を測る外部検定試験を受験する予定である（受験した。）と回答している生徒の割合は、学年別にみると1年が高い。

（1年：61%、2年：52%、3年：41%）

質問35

「質問34」で肯定的に回答した人のうち、英語の4技能(聞く・読む・話す・書く)を測る外部検定試験に向けた勉強に自ら取り組んでいる(取り組んだ。)



質問34で肯定的に回答した人のうち、71%の生徒が英語の4技能を測る外部検定試験に向けた勉強に自ら取り組んでいる(取り組んだ。)

## V 生活習慣に関する質問について

### 1 集計結果の概要

#### (1) 特徴的な事柄

○ 平日、休日ともに読書をしていない生徒の割合は、それぞれ6割程度である。

- 平日に全く読書をしていない生徒の割合は、1年：52%、2年：62%、3年：63%である。 → 質問 36
- 休日に全く読書をしていない生徒の割合は、1年：57%、2年：63%、3年：66%である。 → 質問 37

○ 平日に2時間以上、休日に4時間以上、携帯電話やスマートフォンを利用している生徒の割合は、それぞれ5割程度である。

- 平日に2時間以上、携帯電話やスマートフォンを利用している生徒の割合は 53%である。 → 質問 40
- 休日に4時間以上、携帯電話やスマートフォンを利用している生徒の割合は 57%である。 → 質問 41

#### (2) 今後の取組に向けて

学校・家庭・地域の連携力の強化

#### ○ 読書習慣の定着

- ☆ 授業での学校図書館の活用による読書に関する興味・関心の喚起
- ☆ 朝読書など、全校一斉の読書活動の推進
- ☆ 図書委員会等による読書会やビブリオバトル等の促進
- ☆ 教育機関等に図書館資料の貸し出しを行う団体貸出制度の活用など、公立図書館との連携の促進

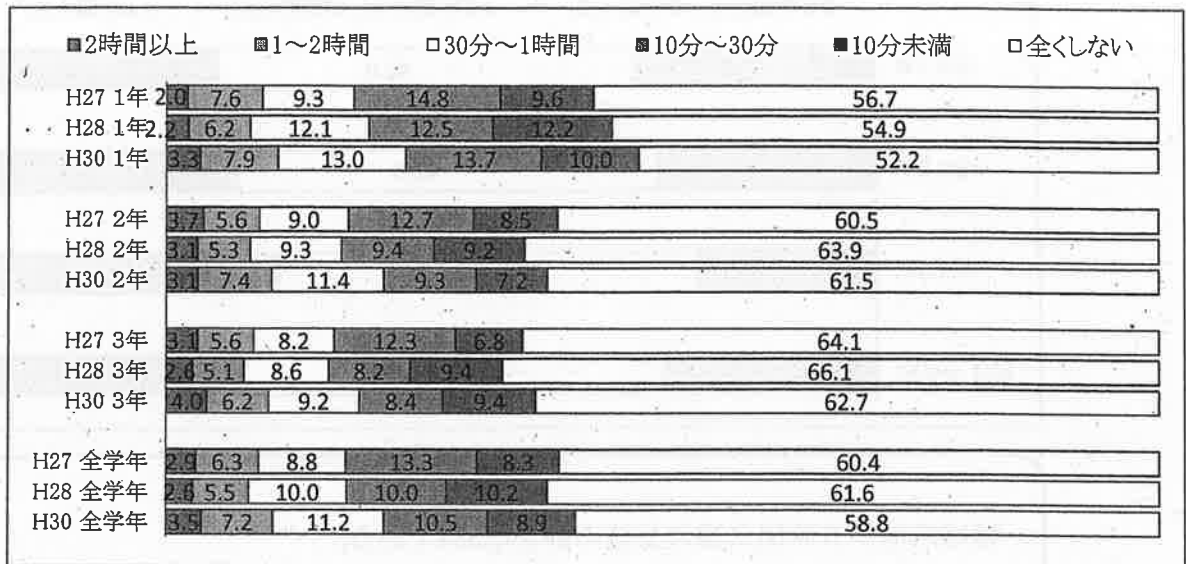
#### ○ 基本的生活習慣の確立

- ☆ 家庭との連携による起床・食事・学習・就寝など規則正しい生活習慣の確立

## 2 質問ごとの状況

### 質問36

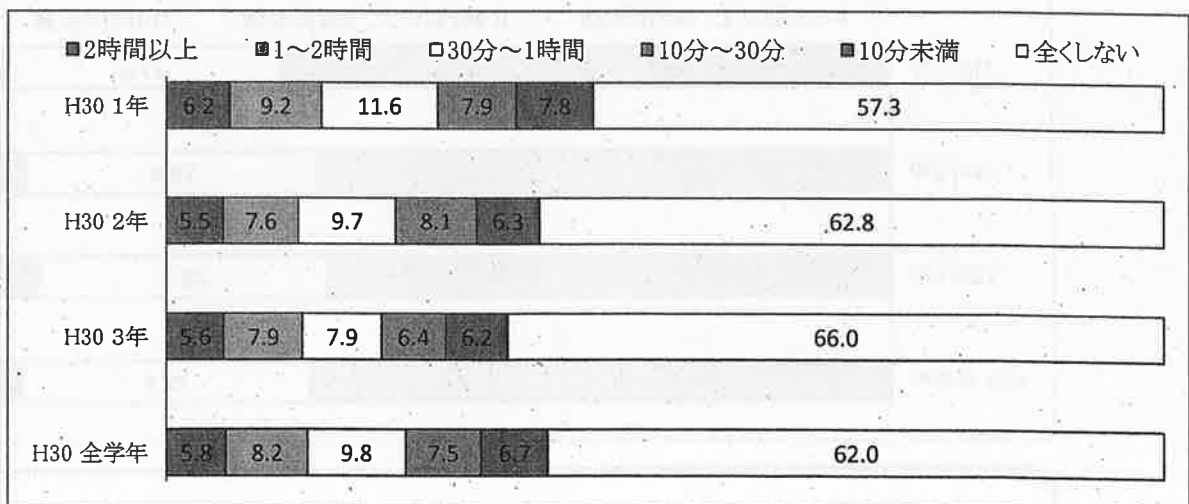
学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか。



平日に全く読書をしていない生徒の割合は、1年：52%、2年：62%、3年：63%である。

### 質問37

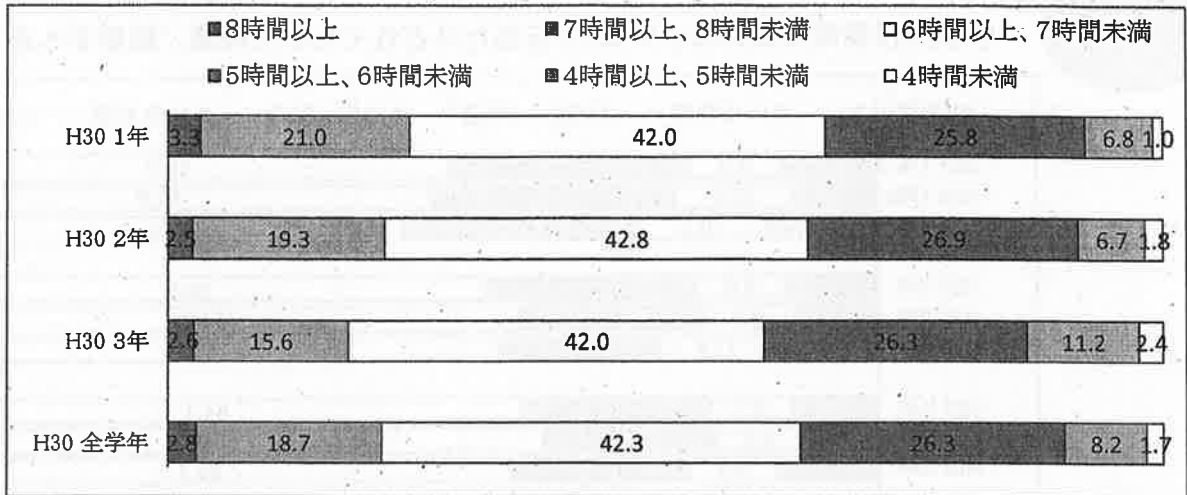
学校が休みの日、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか。



休日に全く読書をしていない生徒の割合は、1年：57%、2年：63%、3年：66%である。

質問38

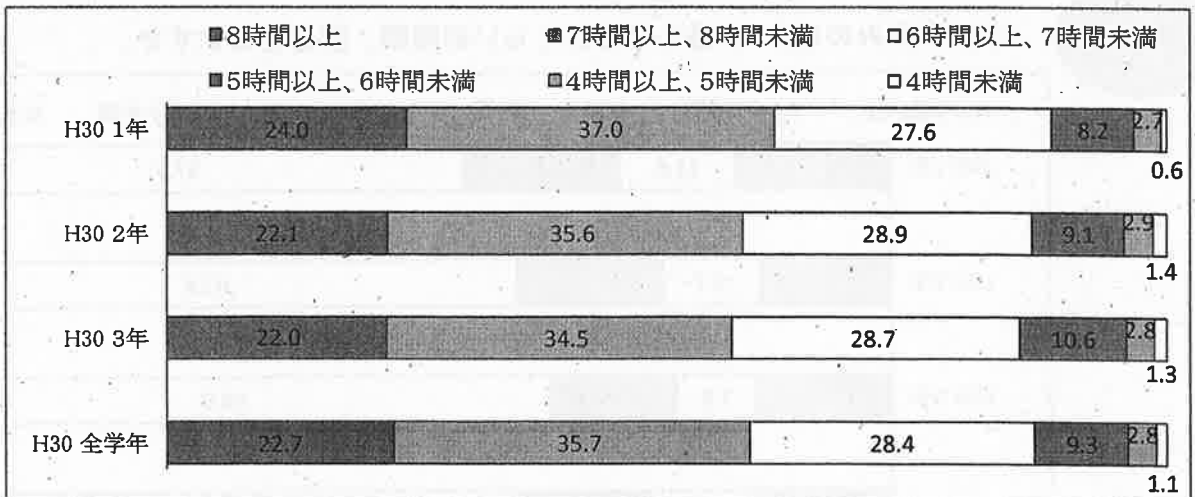
平日、1日当たりの平均睡眠時間はどの程度ですか。



睡眠時間が6時間未満の生徒の割合は36%である。

質問39

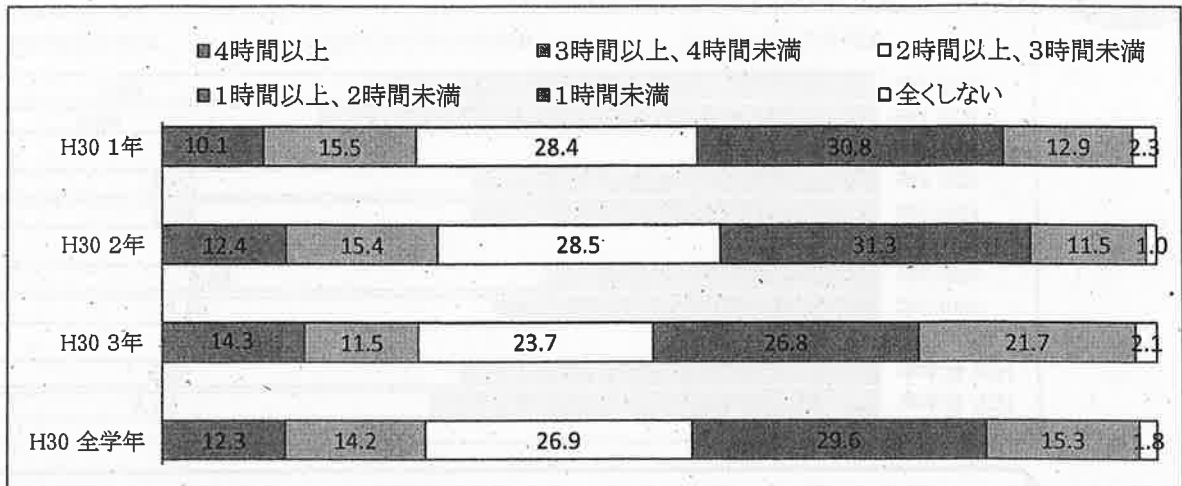
学校が休みの日、1日当たりの平均の睡眠時間はどの程度ですか。



睡眠時間が6時間未満の生徒の割合は13%である。

質問 4 0

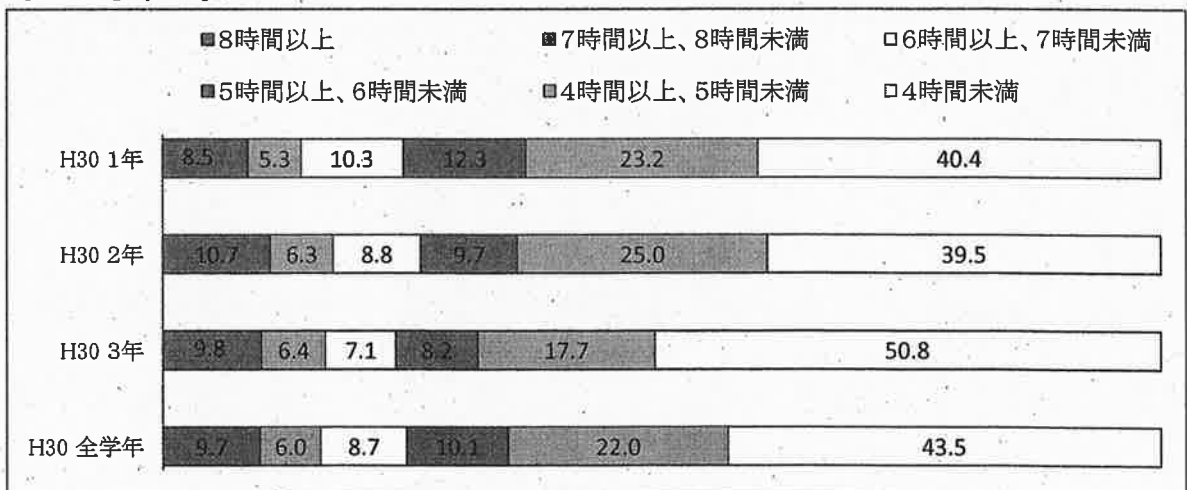
平日、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを利用していますか。



平日、2時間以上、携帯電話やスマートフォンを利用している生徒の割合は53%である。

質問 4 1

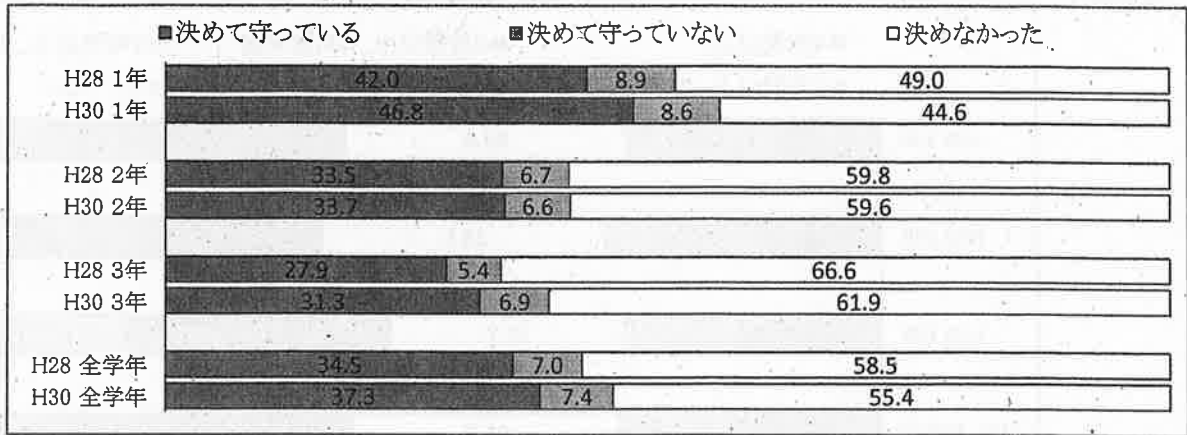
学校が休みの日、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを利用していますか。



休日、4時間以上、携帯電話やスマートフォンを利用している生徒の割合は57%である。

質問 4 2

携帯電話、スマートフォン、通信機能付き端末を持つときに、「利用についてのルール」を、家の人と決めましたか。



「利用についてのルールを決めていない」と回答している生徒の割合は55%である。



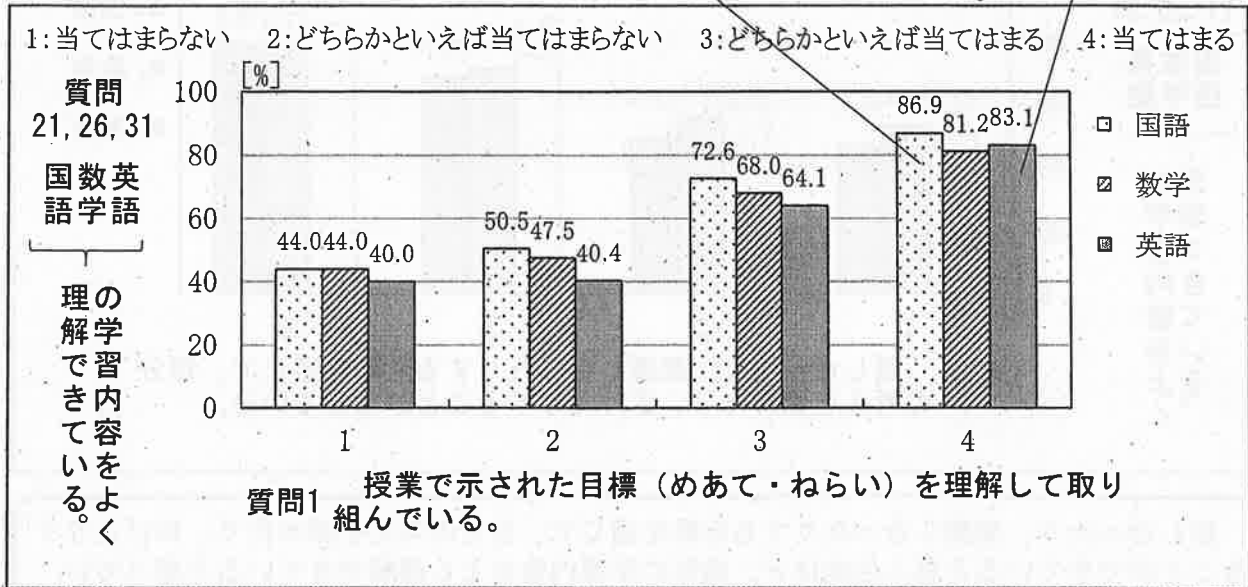
VI クロス集計

※ 「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」を肯定的意見として集計している。

クロス集計 1

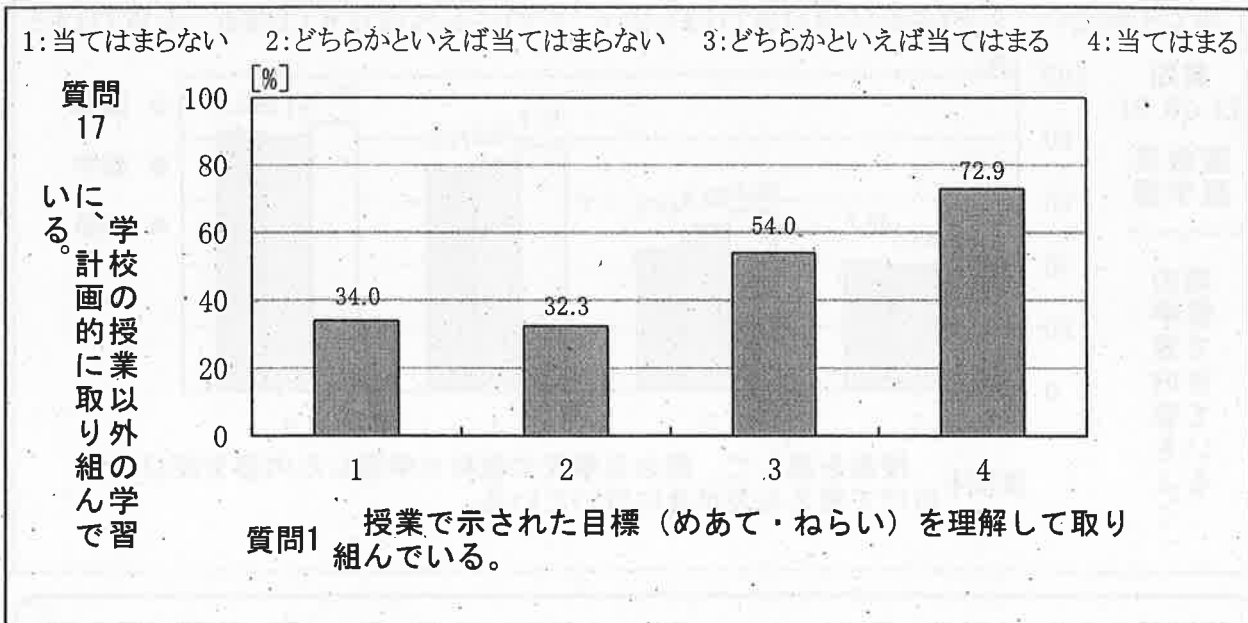
「質問1」で「4:当てはまる」と回答した生徒のうちの86.9%が「国語の学習内容をよく理解できている」と回答した。

「質問1」で「4:当てはまる」と回答した生徒のうちの83.1%が「英語の学習内容をよく理解できている」と回答した。



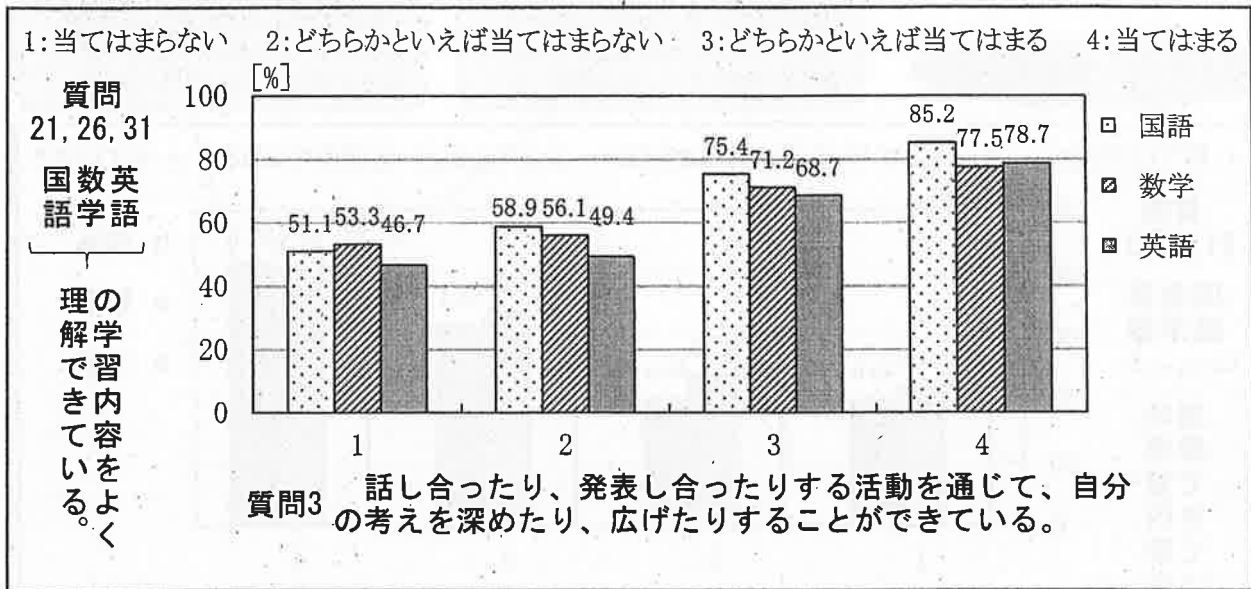
授業で示された目標（めあて・ねらい）を理解して取り組んでいる生徒ほど、教科の学習内容をよく理解できていると思っている。

クロス集計 2



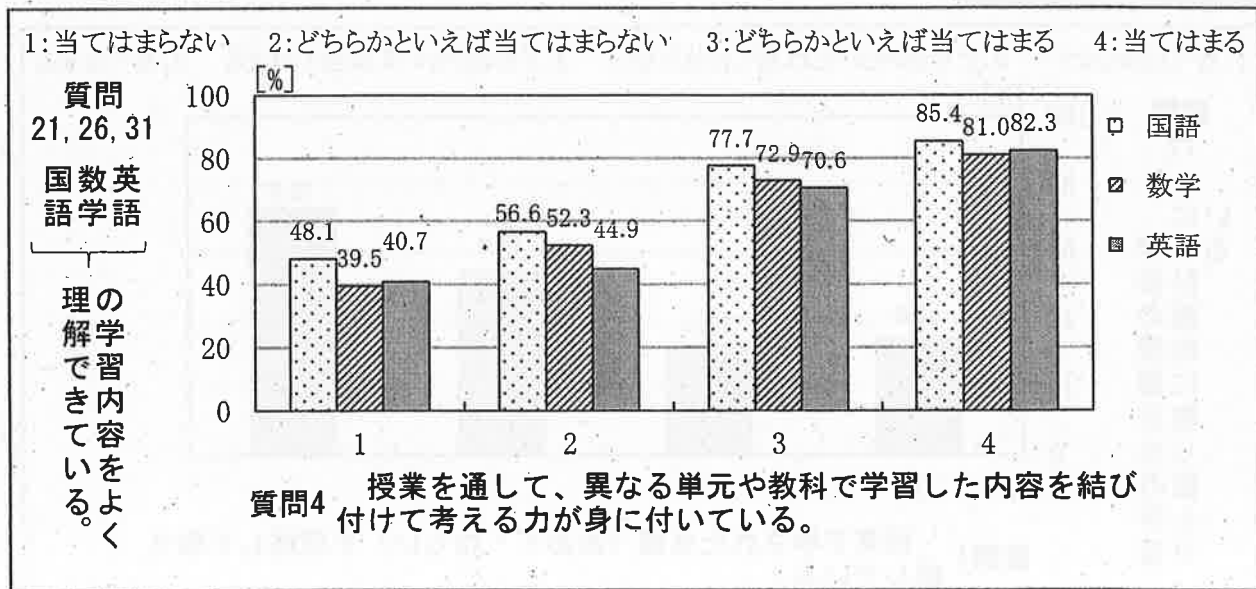
授業で示された目標（めあて・ねらい）を理解して取り組んでいる生徒ほど、学校の授業以外の学習に、計画的に取り組んでいる。

クロス集計3



話し合ったり、発表し合ったりする活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う生徒ほど、教科の学習内容をよく理解できていると思っている。

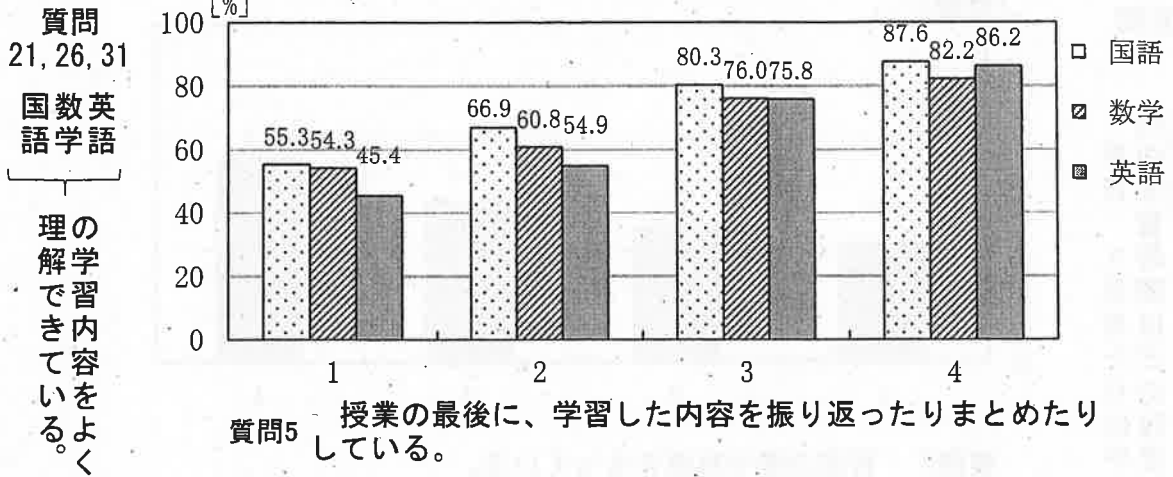
クロス集計4



授業を通して、異なる単元や教科で学習した内容を結び付けて考える力が身に付いている生徒ほど、教科の学習内容をよく理解できていると思っている。

クロス集計5

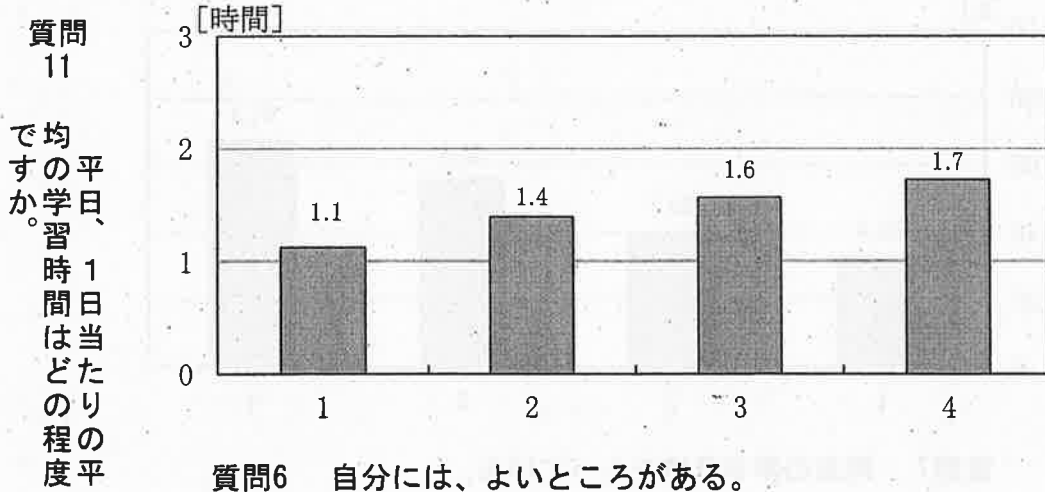
1:当てはまらない 2:どちらかといえば当てはまらない 3:どちらかといえば当てはまる 4:当てはまる



授業の最後に、学習した内容を振り返ったりまとめたりしている生徒ほど、教科の学習内容をよく理解できていると思っている。

クロス集計6

1:当てはまらない 2:どちらかといえば当てはまらない 3:どちらかといえば当てはまる 4:当てはまる



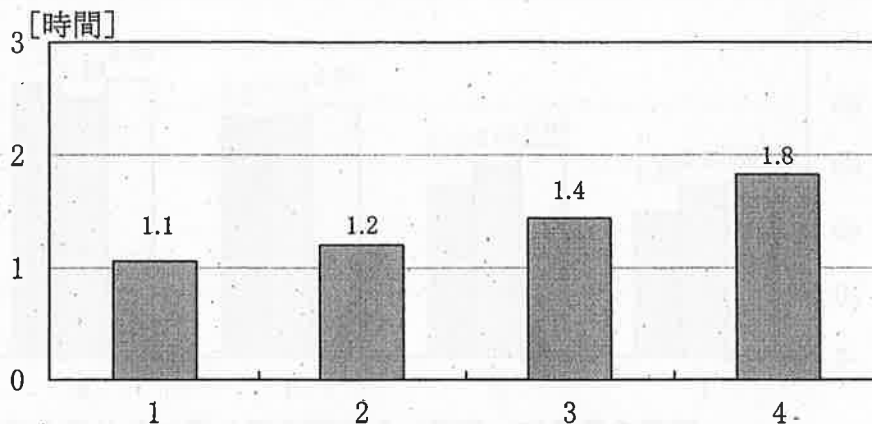
自分にはよいところがあると思う生徒ほど、平日、1日当たりの学習時間が長い。

クロス集計7

1:当てはまらない 2:どちらかといえば当てはまらない 3:どちらかといえば当てはまる 4:当てはまる

質問  
11

で均すか。平日、1日当たりの学習時間はどの程度の平



質問7 将来の夢や目標をもっている。

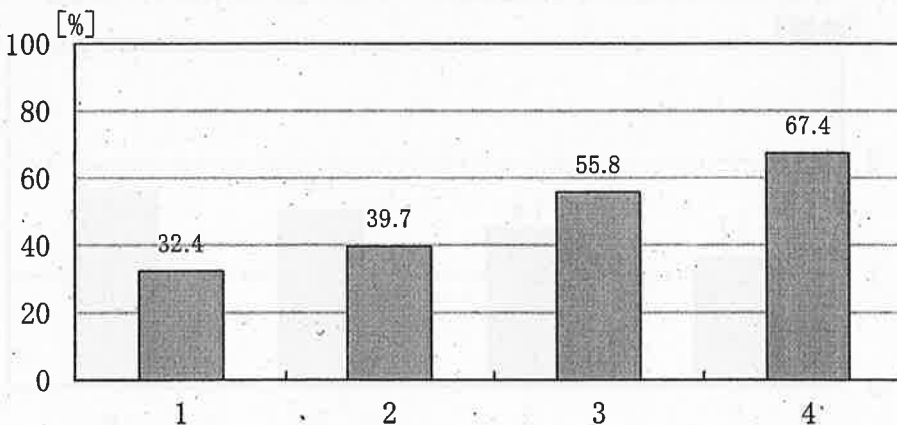
将来の夢や目標をもっている生徒ほど、平日、1日当たりの学習時間が長い。

クロス集計8

1:当てはまらない 2:どちらかといえば当てはまらない 3:どちらかといえば当てはまる 4:当てはまる

質問  
17

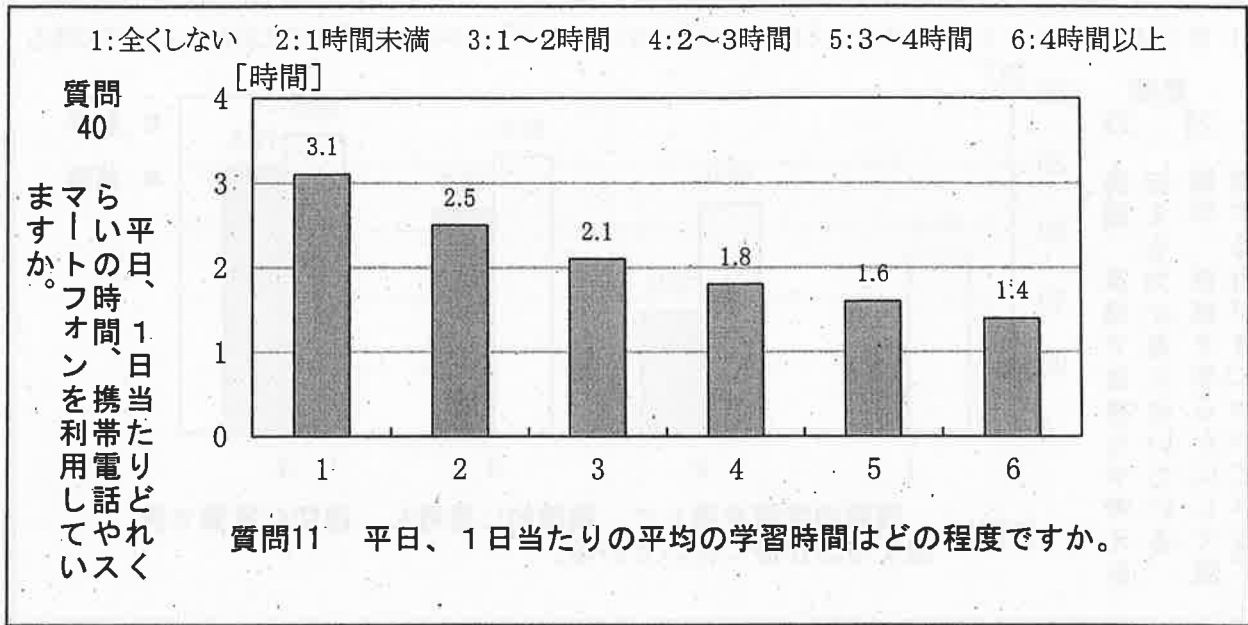
いに、学校の授業以外に計画的に学習に取り組んでいる。



質問7 将来の夢や目標をもっている。

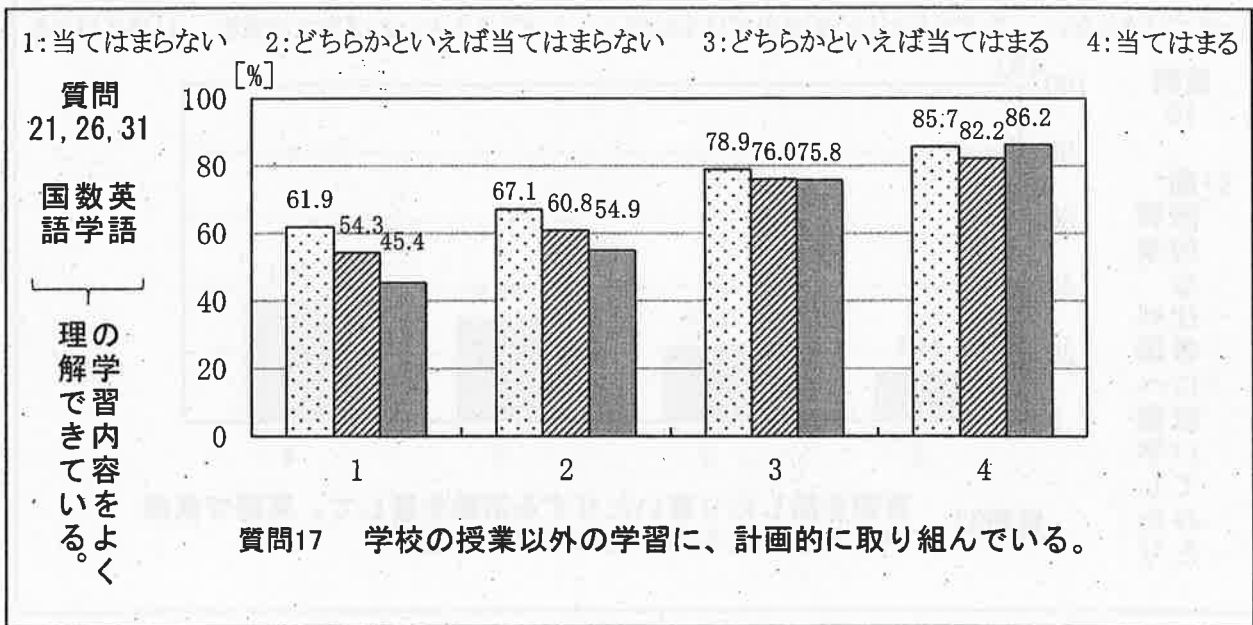
将来の夢や目標をもっている生徒ほど、学校の授業以外の学習に、計画的に取り組んでいる。

クロス集計 9



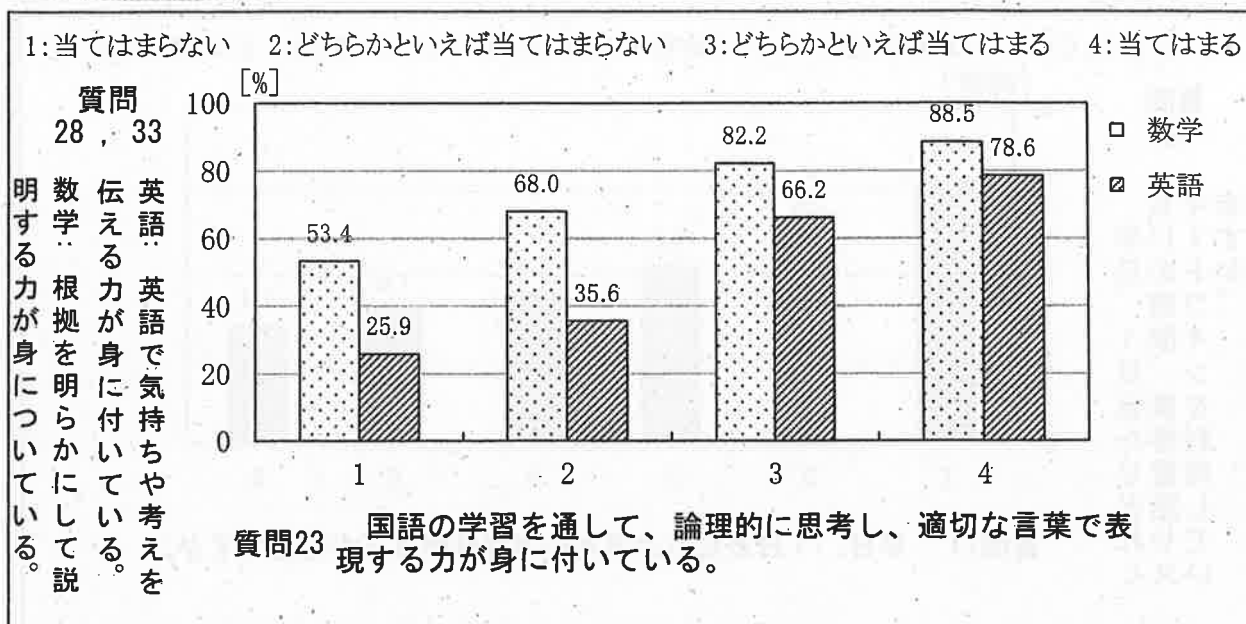
平日、1日当たりの学習時間が多い生徒ほど、携帯電話やスマートフォンを利用している時間が短い。

クロス集計 10



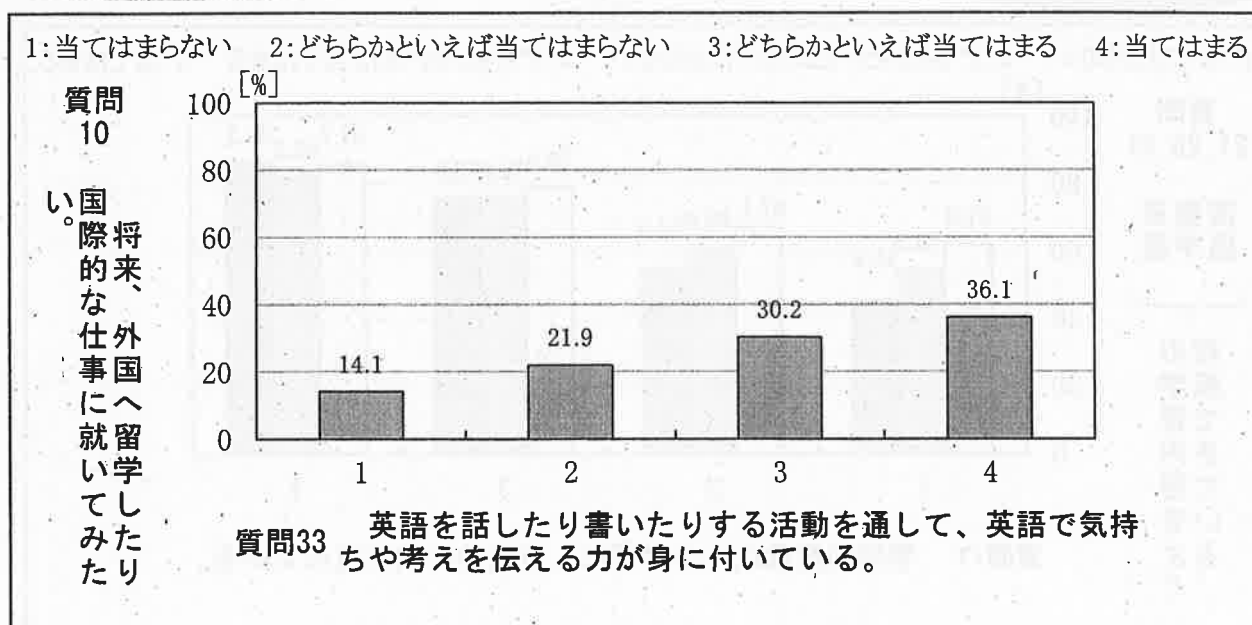
学校の授業以外の学習に、計画的に取り組んでいる生徒ほど、教科の学習内容をよく理解できていると思っている。

クロス集計 1 1



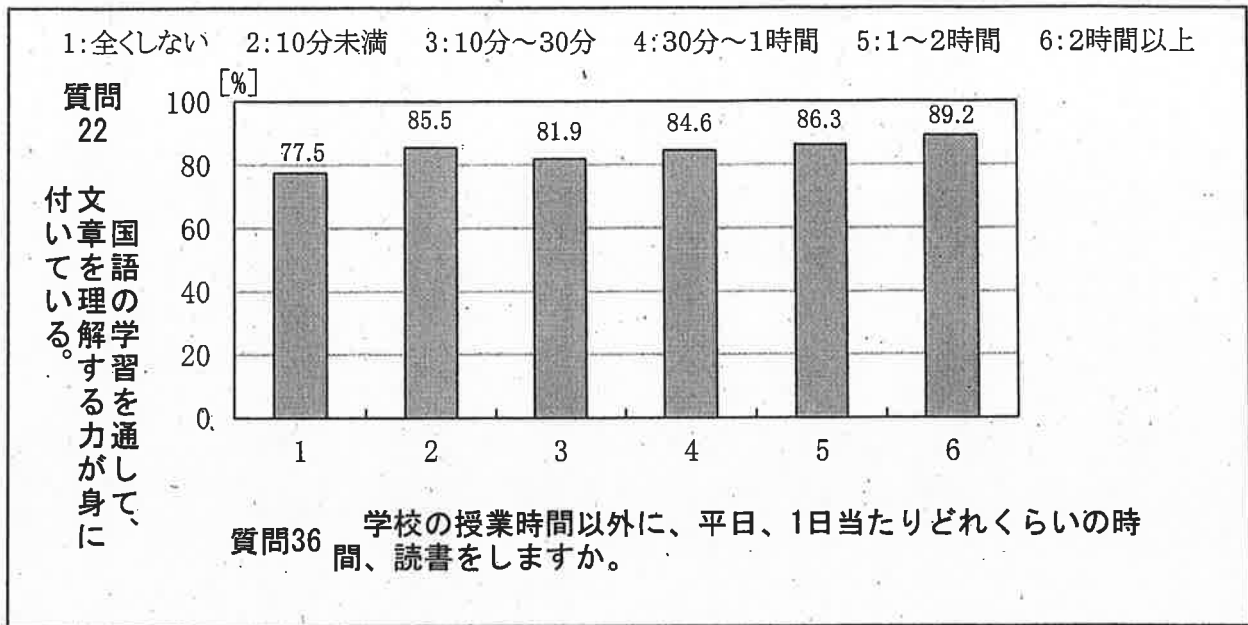
国語の学習を通して、論理的に思考し、適切な言葉で表現する力が身に付いていると思う生徒ほど、数学で根拠を明らかにして説明する力や、英語で気持ちや考えを伝える力が身に付いていると思っている。

クロス集計 1 2



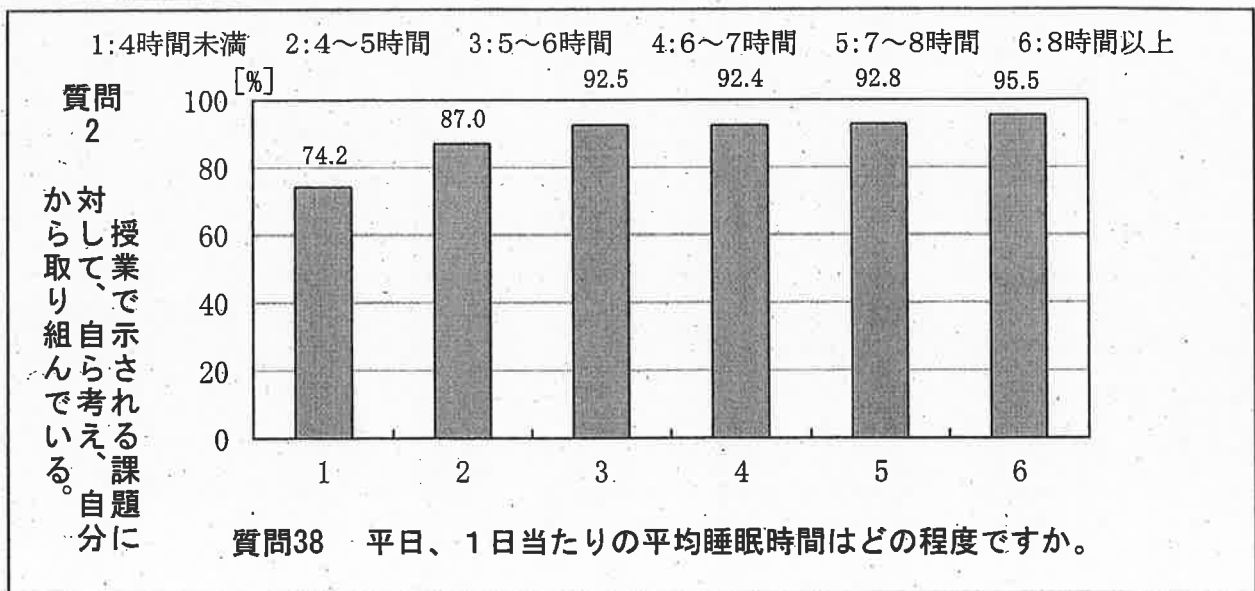
英語で気持ちや考えを伝える力が身に付いていると思う生徒ほど、将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと考えている。

クロス集計 13



平日、読書を全くしない生徒は、読書をする生徒と比べて、文章を理解する力が身に付いていると思う割合が低い。

クロス集計 14



平日、1日当たりの平均睡眠時間が5時間未満の生徒は、平均睡眠時間が5時間以上の生徒と比べ、授業で示される課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいると思う割合が低い。

